



KONICA MINOLTA

The essentials of imaging

bizhub 200/250/350

クイックガイド プリンタ機能編

目 次

- 1. 概要
- 2. プリンタドライバのインストール
- 3. ネットワーク印刷の設定
- 4. 色々な印刷方法
- 5. 各種設定
- 6. トラブルシューティング
- 7. 付録

本書に、乱丁、落丁などがありましたら、サービス実施店
もしくは、最寄の販売店にご連絡ください。新しいものと
お取替えいたします。

はじめに

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
す。

bizhub 200/250/350 にはプリンタコントローラが内蔵されており、接続したコンピュータから直接プリントすることができます。

このクイックガイドには、プリンタコントローラのプリンタ機能や操作方法、使用上のご注意などについて記載しています。本機の性能を十分に発揮させて、効果的にご利用いただくために、ご使用の前にこのクイックガイドを最後までお読みください。

安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず「ユーザーズガイド コピー機能編『設置・取り扱いの注意』」をお読みください。

クイックガイド内で使用しているイラストなどは、実際の装置とは異なる場合があります。

国際エネルギースタープログラムについて



当社は、国際エネルギースタープログラムの参加業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

国際エネルギースタープログラム対象製品とは？

国際エネルギースタープログラム対象製品とは、地球温暖化抑制に貢献する事を目的に作られた製品です。一定時間印刷を行わない場合、自動的に低電力モードに移行する機能が搭載されています。この機能により本機未使用時の効率的および、経済的な電力の使用ができます。

エコマークについて



本機は資源採取からリサイクルまでのライフサイクル全体を通して環境に配慮し、エコマーク認定された製品です。

エコマーク認定番号 第 05 117 011 号

bizhub 200/250/350 は、「エコマーク事務局認定・環境保全型商品」です。

エコマーク Version2.0 とは？

環境省の指導のもとに環境にやさしい社会の実現に向けて、財団法人日本環境協会が 2005 年 8 月 1 日（Version2.0）に制定した規準です。「製品の製造、使用、廃棄等による環境への負荷が相対的に少ない商品」、また、「この製品を利用することにより、環境への負荷を極力抑えることができる商品」に認定されます。

両面コピー機能について

両面コピー機能とは、1 枚の用紙を自動的に反転させ、用紙のオモテ面／ウラ面の両面にコピーする機能です。

本機は、両面コピー機能が設定可能です。

電波障害について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。

この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

この製品にはシールドされたネットワークケーブルおよびパラレルケーブルを使う必要があります。そうでない場合は、電波障害を引き起こすことがあります。

商標、著作権等について

- KONICA MINOLTA、KONICA MINOLTA ロゴ、The essentials of imaging は、コニカミノルタホールディングス株式会社の登録商標です。
- PageScope、bizhub はコニカミノルタビジネステクノロジー株式会社の登録商標です。
- Netscape Communications、Netscape Communications ロゴ、Netscape Navigator、Netscape Communicator および Netscape は、Netscape Communications Corporation の商標です。
- Novell、NetWare は、米国 Novell, Inc. の登録商標です。
- Microsoft、Windows および Windows NT は、Microsoft Corporation の登録商標です。
- IBM は、米国 International Business Machines, Inc. の登録商標です。
- Apple、Macintosh、および Mac は、Apple Computer, Inc. の登録商標です。
- Adobe、Adobe ロゴ、Acrobat、Acrobat ロゴ、PostScript、および PostScript ロゴは、Adobe Systems Incorporated の登録商標または商標です。
- Ethernet は、Xerox Corporation の登録商標です。
- PCL は、米国 Hewlett-Packard Company Limited の登録商標です。
- 本クイックガイドに記載されているその他の会社名、商品名は、該当各社の登録商標または商標です。
- Compact-VJE
Copyright 1986-2003 VACS Corp.
- RC4 ® is a registered trademark or trademark of RSA Security Inc. in the United States and/or other countries.
- RSA® BSAFE™
RSA は RSA Security Inc. の登録商標です。BSAFE は RSA Security Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。



ライセンス情報

本製品は、RSA Security Inc. の RSA® BSAFE™ ソフトウェアを搭載しています。

- その他の社名および製品名は各社の商標または登録商標です。

OpenSSL Statement

- **OpenSSL License**

Copyright © 1998-2000 The OpenSSL Project. All rights reserved.
Redistribution and use in source and binary forms, with or without
modification, are permitted provided that the following conditions are
met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice,
this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
notice, this list of conditions and the following disclaimer in the
documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software
must display the following acknowledgment:
“This product includes software developed by the OpenSSL Project
for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)”
4. The names “OpenSSL Toolkit” and “OpenSSL Project” must not
be used to endorse or promote products derived from this software
without prior written permission. For written permission, please
contact opensslcore@openssl.org.
5. Products derived from this software may not be called “OpenSSL”
nor may “OpenSSL” appear in their names without prior written
permission of the OpenSSL Project.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following
acknowledgment:
“This product includes software developed by the OpenSSL Project
for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>)”

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT “AS IS”
AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT
NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF
MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE
ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR
ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT,
INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL
DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF
SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR
PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND
ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT
LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE)
ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN
IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes cryptographic software written by Eric Young
(eay@crypt-Soft.com). This product includes software written by Tim
Hudson (tjh@cryptsoft.com).

- Original SSLeay License

Copyright © 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).

The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL. This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are adhered to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code.

The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed. If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used. This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
"This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@crypt-soft.com)"
The word 'cryptographic' can be left out if the routines from the library being used are not cryptographic related.
4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:
"This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]

Copyright

© 2005 KONICA MINOLTA BUSINESS TECHNOLOGIES, INC. All Rights Reserved.

免責

- 本クイックガイドの一部または全部を無断で使用、複製することはできません。
- コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社は、本プリンティングシステムおよび本クイックガイドを運用した結果の影響につきましては、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本クイックガイドに記載されている情報は、予告なく変更される場合があります。
- プリンタドライバの著作権は、コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社にあります。

ソフトウェア使用許諾契約書

本パッケージにはコニカミノルタビジネステクノロジー株式会社（以下、「KMBT」）より提供される、プリンタシステムの一部を構成するソフトウェア、特殊な暗号化フォーマットにデジタルコード化された機械可読アウトラインデータ（以下、「フォントプログラム」）、その他プリンティングソフトウェアと連動しコンピュータシステム上で動作するソフトウェア（以下、「ホストソフトウェア」）、そして関連する説明資料（以下、「ドキュメンテーション」）が含まれています。

本契約において「本ソフトウェア」とはプリンティングソフトウェア、フォントプログラム、ホストソフトウェアの総称で、それらすべてのアップグレード版、修正版、追加版、複製物を含みます。

本ソフトウェアは以下の条件の下でお客様にご使用いただいております。

以下ご同意くださった場合に限り、本ソフトウェアおよびドキュメンテーションを使用することのできる非独占的、譲渡不可のライセンスをKMBTにより付与いたします。

1. お客様は、お客様の日常業務での使用目的に限り、本ソフトウェアおよび、それに伴うフォントプログラムを使用することができます。
2. 上記 1. に定義されているフォントプログラムのライセンスに加え、お客様は、フォントの重み、スタイル、文字・数字・シンボルのバージョンをプリンティングソフトウェアを使用するコンピュータにおいて再生表示することができます。
3. お客様はバックアップ用にホストソフトウェアをひとつ複製することができます。ただし、その複製物はいかなるコンピュータにおいてもインストールあるいは使用されないことを条件とします。ただし、プリンティングソフトウェアが実行されているプリンティングシステムと使用するとき限り、ホストソフトウェアを複数のコンピュータにインストールすることができます。
4. 本契約の元、お客様はライセンシーとしてのソフトウェアおよびドキュメンテーションに対する権利および所有権を第三者（以下、譲受人）に譲渡することができます。ただし、お客様が当該譲受人にソフトウェアやドキュメンテーションおよびそれらの複製物のすべてを譲渡し、当該譲受人が本契約の諸条件について同意している場合に限りです。
5. お客様はソフトウェアやドキュメンテーションを変更、改作、翻訳したりすることはできません。
6. お客様は本ソフトウェアを改造、逆アセンブル、暗号解読、リバースエンジニアリング、逆コンパイルすることはできません。
7. 本ソフトウェア、ドキュメンテーション、およびそれらの複製物に対する権利および所有権その他の権利はすべて KMBT およびそのライセンサーに帰属します。

8. 商標は、商標の所有者名を明示し、容認された商標慣行にしたがって使用されるものとします。商標の使用は、本ソフトウェアによって生成された印刷出力の識別を目的とする場合に限られます。いかなる商標であっても、こうした使用によって当該の商標の所有権がお客様に付与されることはありません。
9. お客様は、ご自身が使用されない本ソフトウェアあるいはその複製物、または未使用の記憶媒体に収められた本ソフトウェアを貸与、リース、使用許諾、譲渡することはできません。ただし、上述の、すべてのソフトウェアおよびドキュメンテーションを永久的に譲渡する場合を除きます。
10. KMBT およびそのライセンサーは、損害が生じる可能性について報告を受けていたとしても、本ソフトウェアの使用に付随または関連して生ずる間接的、懲罰的あるいは実害、利益損失、財産損失についていかなる場合においても、また第三者からのいかなるクレームに対しても一切の責任を負いません。KMBT およびそのライセンサーは、本ソフトウェアの使用に関して、明示であるか黙示であるかを問わず、商品性または特定の用途への適合性、所有権、第3者の権利を侵害しないことへの保証を含むがこれに限定されず、すべての保証を否認します。ある国や司法機関、行政によっては付随的、間接的、あるいは実害の例外あるいは限定が認められず、お客様に上記の制限はあてはまらない場合もあります。
11. Notice to Government End Users（本規定に関して：本規定は米国政府機関のエンドユーザー以外の方には適用されません。）The Software is a “commercial item,” as that term is defined at 48 C.F.R.2.101, consisting of “commercial computer software” and “commercial computer software documentation,” as such terms are used in 48 C.F.R. 12.212. Consistent with 48 C.F.R. 12.212 and 48 C.F.R. 227.7202-1 through 227.7202-4, all U.S. Government End Users acquire the Software with only those rights set forth herein.
12. 本ソフトウェアをいかなる国においても輸出管理に関連した法規制に違反した形で輸出することはできません。

目次

1 概要

1.1	プリンタコントローラとは	1-1
	プリンタコントローラの役割	1-1
	プリンタコントローラでできること	1-1
	各モード	1-2
	プリントの流れ	1-3
1.2	動作環境	1-5
	接続できるコンピュータと OS	1-5
	接続に使用するインターフェース	1-6
1.3	セットアップの流れ	1-8

2 プリンタドライバのインストール

2.1	プリンタドライバの種類と対応 OS	2-1
2.2	Windows で使用する場合	2-2
	インストーラによる自動インストール	2-3
	インストール	2-4
	プラグアンドプレイを使ったインストール	2-5
	Windows 98SE の場合	2-5
	Windows Me/2000 の場合	2-6
	Windows XP/Server 2003 の場合	2-8
	Windows Vista の場合	2-9
	プリンタドライバをアンインストールする場合	2-10
2.3	Macintosh で使用する場合	2-13
	プリンタドライバのインストール	2-13
	Macintosh OS X の場合	2-13
	プリンタの選択	2-15
	Macintosh OS X の場合	2-15
	Macintosh OS 9.2 の場合	2-17
	プリンタドライバをアンインストールする場合	2-19
	Macintosh OS X の場合	2-19
	Macintosh OS 9.2 の場合	2-20

3 ネットワーク印刷の設定

3.1 ネットワーク機能の概要	3-1
ネットワーク機能とは	3-1
ネットワーク機能の特徴	3-2
各 Windows OS で選択可能なネットワーク接続方式	3-4
Windows OS からのネットワーク印刷方法	3-4
NetWare 環境でのネットワーク印刷方法	3-5
3.2 PageScope Web Connection へのアクセス方法	3-6

4 色々な印刷方法

4.1 印刷操作	4-1
Windows の場合	4-1
テスト印刷	4-2
Macintosh の場合	4-3
Mac OS X の場合	4-3
Mac OS 9.2 の場合	4-4
4.2 プリンタ機能を設定するには	4-6
機能一覧	4-6
機能概要	4-8
原稿の向き	4-8
原稿サイズ／出力サイズ	4-9
ズーム（拡大縮小）	4-10
給紙トレイ（給紙方法）	4-11
用紙種類	4-11
印刷種類（両面印刷／小冊子印刷）	4-12
ページ割付	4-14
ステープル／パンチ	4-15
出力方法（ジョブ管理）	4-16
ソート（部単位）／仕分け（オフセット）	4-16
白紙抑制（白紙節約）	4-17
オモテ表紙／ウラ表紙／OHP 合紙	4-18
ページ単位設定	4-18
フォーム（オーバーレイ）	4-19
ウォーターマーク	4-20
プリンタフォントを使用する（代用フォント）	4-21
ユーザ認証	4-21
部門管理	4-21
Windows の場合	4-22
Macintosh の場合	4-26

5 各種設定

5.1	テストプリント出力	5-1
	プリンタ設定	5-1
	プリンタ設定画面を表示させるには	5-1

6 トラブルシューティング

6.1	プリントできない	6-1
6.2	設定できない／設定したとおりにプリントできない	6-3

7 付録

7.1	製品仕様	7-1
7.2	コンフィグレーションページ	7-3
7.3	フォントリスト	7-4
	PCL フォントリスト	7-4
	PS フォントリスト	7-5
	PCL デモページ	7-6

本書について

本書は、コニカミノルタプリンタコントローラで実現できるプリント機能のクイックガイドです。コピー機能、スキャナ機能、ボックス機能、ファクス機能、プリンタ機能の詳細についてはそれぞれのユーザーズガイドをごらんください。

本書はコンピュータの基本操作、およびコピー機の基本操作を理解しているお客様を対象としています。Windows または Macintosh の各オペレーティングシステムの操作方法や、アプリケーションの操作方は、それぞれの操作説明書をごらんください。

マニュアルの構成

コントローラに関するユーザーズガイドは機能ごとに以下のように分かれています。

マニュアル	説明
プリンタ機能編 クイックガイド	本書です。プリンタとして使用するときに読みください。
プリンタ機能編	プリンタとして使用するときに読みください。
コピー機能編	基本操作、コピー機能の操作について記載しています。本機の操作に関する内容を知りたい場合にお読みください。
ネットワーク／スキャナ機能編	スキャナとして使用するときに読みください。
ボックス機能編	本機のボックス機能を使用するときに読みください。
ファクシミリ機能編	オプションのファクス機能として使用するときに読みください。
SIP ファクス機能編	オプションの FAX キットを装着し、SIP ファクス機能を使用するときに読みください。
拡張スキャナ機能編	オプションのスキャナユニット機能を使用するときに読みください。

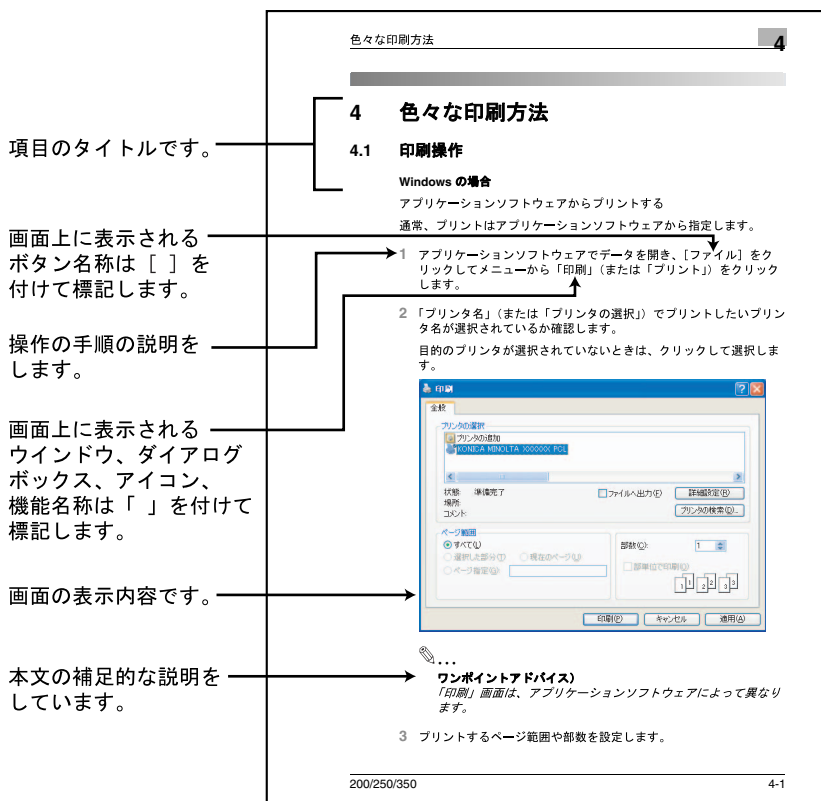
表記について

製品名	
KONICA MINOLTA 200/250/350 プリンタ本体（コピー機）	本機、コピー機、またはプリンタ
内蔵ネットワークコントローラ	プリンタコントローラ
プリンタコントローラ、コピー機を組み合わせたプリンティングシステム	プリンティングシステム
Microsoft Windows	Windows

本書で使用している画面について

プリンタドライバの機能に関する説明は、とくに断りのない限り、Windows XP 用プリンタドライバを使用して説明しています。

本書の使い方





1 概要

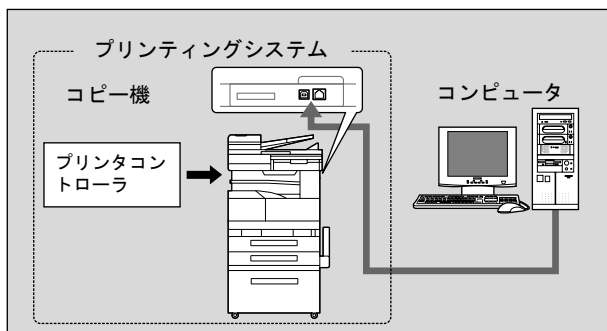
1.1 プリンタコントローラとは

プリンタコントローラは、コピー機にプリンタ機能、ネットワークプリント機能を実現するための装置です。

プリンタコントローラの役割

プリンタコントローラは、あらかじめ、コピー機に内蔵されています。

プリンティングシステムとつながっているコンピュータ上のアプリケーションからプリントができます。コピー機をネットワークプリンタとして使用する場合も、コンピュータ上のアプリケーションからプリントができます。



プリンタコントローラでできること

プリンタコントローラは、以下の機能を持っています。

- コンピュータからのプリント機能（プリンタドライバ使用）
- TCP/IP、NetBEUI、IPX/SPX、AppleTalk などのネットワークプロトコルをサポート
- Windows 印刷（SMB 印刷）、LPR 印刷、IPP 印刷などを利用した、ネットワーク経由によるプリント機能
- ネットワーク経由での、クライアント PC からの本機／プリンタコントローラの設定（Web ブラウザ使用）
- プリント枚数の管理（外部サーバ認証を除くユーザ認証・部門管理機能）



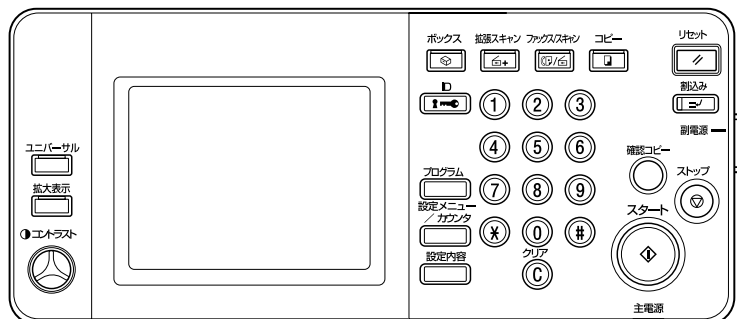
ご注意

Windows 印刷は、PCL プリンタドライバでのみ利用できます。

各モード

プリンタドライバの設定は主にコンピュータで行いますが、コピー機の操作パネルでフォントリストのプリントやコントローラの設定、プリント時の初期設定ができます。また、モードを切換えることによってファクシミリやスキャナとして使うこともできます。

モードの切換えは、操作パネルの各モードに対応するキーで行います。



【コピー】

コピー機能に切換わります。

【ファクス/スキャン】

ファクス/スキャン機能に切換わります。

ファクス機能を使用するには、オプションの FAX キットが必要です。

【拡張スキャン】

拡張スキャン機能に切換わります。

拡張スキャン機能を使用するには、オプションの FAX キットまたはスキャナユニットが必要です。

【ボックス】

ボックス機能に切換わります。



ワンポイントアドバイス

どのモードでも、本体をプリンタとして使用することができます。

プリント時の初期設定を変更する場合は、設定メニューで行います。

プリントの流れ

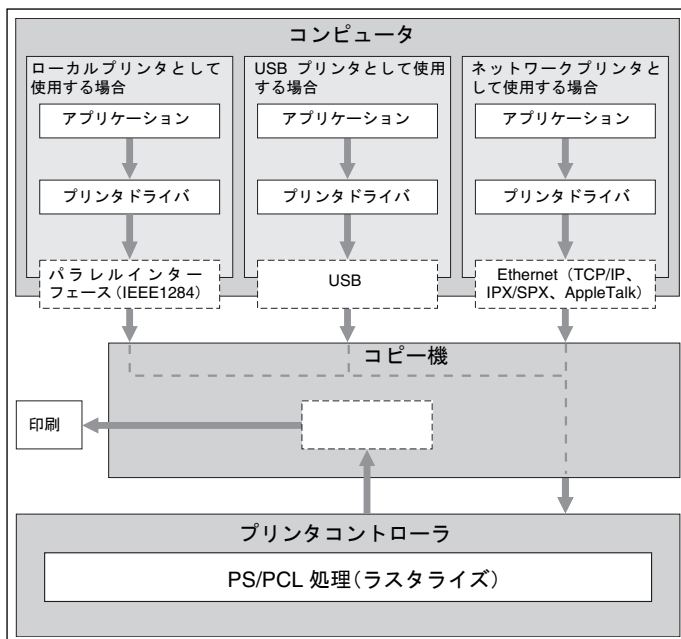
プリンタとして本プリンティングシステムを使用するときの大まかな処理の流れは以下のとおりです。

アプリケーションから送られたプリントコマンドは、プリンタドライバが受け取ります。

ローカルプリンタとして使用する場合はパラレルインターフェース (IEEE1284)、USB プリンタとして使用する場合は USB インターフェース、ネットワークプリンタとして使用する場合は Ethernet (TCP/IP、IPX/SPX、AppleTalk) を通じてデータが本機に送られ、本機からプリンタコントローラに渡されます。プリンタコントローラでは画像のラスターライズ（出力する文字や画像をビットマップデータに展開する）処理が行われます。このデータが本機からプリントされます。

**ご注意)**

パラレル接続を行うには、オプションのローカル接続キットが必要です。



コピー中にプリントジョブを受信したときは、データが本機のメモリに蓄積されます。コピーが終了すると自動的に出力を開始します。

1.2 動作環境

本プリンティングシステムを使うために必要なシステムと、接続に使用するインターフェースについて説明します。

接続できるコンピュータと OS

接続するコンピュータが、以下の条件を満たしていることを確認してください。

Windows

オペレーティングシステム	Windows 98 Second Edition、Windows Me、Windows NT4.0 (Service Pack 6a 以降)、Windows 2000 Professional (Service Pack 4 以降)、Windows XP Home Edition/ Professional (Service Pack 2 以降)、Windows XP Professional x64 Edition、Windows Vista Home Basic/Home Premium/Ultimate/Business/Enterprise、Windows Vista Home Basic/Home Premium/Ultimate/Business/Enterprise x64 Edition、Windows Server 2003 Standard Edition、Windows Server 2003 x64 Edition
CPU	Pentium 以上
メモリ	OS が推奨するメモリ容量 OS および使用するアプリケーションにおいて、メモリリソースが十分であること。
ドライブ	CD-ROM ドライブ
Web ブラウザ (PageScope Web Connection 使用時)	Windows 98SE/Me/NT 4.0 <ul style="list-style-type: none">• Microsoft Internet Explorer Ver.4 以降• Netscape Navigator Ver.4.73 または 7.0 Windows 2000 <ul style="list-style-type: none">• Microsoft Internet Explorer Ver.5 以降• Netscape Navigator Ver.7.0 Windows XP <ul style="list-style-type: none">• Microsoft Internet Explorer Ver.6 以降• Netscape Navigator Ver.7.0 Windows Vista <ul style="list-style-type: none">• Microsoft Internet Explorer Ver.7 以降• Netscape Navigator Ver.7.0 * ただし、Microsoft Internet Explorer Ver.5.5 をお使いの場合は、Service Pack1 以降を使用してください。

Macintosh

オペレーティングシステム	Macintosh OS 9.2/OS X (10.2 または 10.3、10.4)
CPU	PowerPC、Intel プロセッサ (Intel プロセッサは、Mac OS X 10.4 のみ)
メモリ	OS が推奨するメモリ容量
ドライブ	CD-ROM ドライブ
Web ブラウザ (PageScope Web Connection 使用時)	Netscape Navigator Ver.7.0

接続に使用するインターフェース

本プリンティングシステムとコンピュータを接続するには、以下の種類のインターフェースが使用できます。

Ethernet

本プリンティングシステムをネットワークプリンタとして使用するときには接続します。

100Base-TX および 10Base-T 規格に対応しています。また、プロトコルは TCP/IP (LPD/LPR、ピア・ツー・ピア)、IPX/SPX (NetWare)、AppleTalk (EtherTalk) などに対応しています。

パラレルインターフェース (オプション)

本プリンティングシステムをローカルプリンタとして使用するときには接続します。

接続には Windows のコンピュータと IEEE1284 パラレルケーブルが必要です。パラレルケーブルは、一端がアンフェノール 36pin オスコネクタのものを使用してください。

パラレルインターフェースはコンパチブル、ニブル、ECP の各モードに対応しています。

USB インターフェース

本プリンティングシステムを USB プリンタとして使用するときには接続します。

Windows Me/2000/XP/Vista/Server 2003 のコンピュータで接続できます。接続には USB ケーブルが必要です。USB ケーブルは A タイプ (4 ピンオス) - B タイプ (4 ピンオス) のものを使用してください。USB ケーブルは 3 m 以下をおすすめいたします。



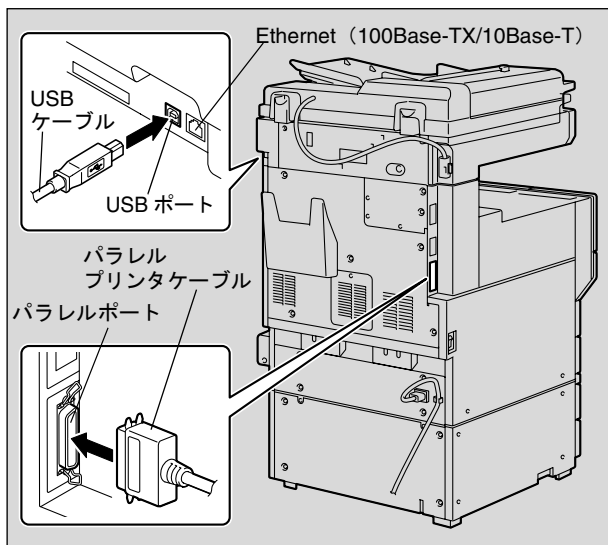
メモ)

Windows NT4.0/98SE および OS 9/OS X のコンピュータは USB インターフェイスで接続できません。

接続図

プリンタケーブルは、本機背面の各ポートに接続します。

コピー機背面



ご注意)

パラレル接続を行うには、オプションのローカル接続キットが必要です。

1.3 セットアップの流れ

本プリンティングシステムをご使用いただくためには、セットアップを行う必要があります。

セットアップとは、本機とコンピュータを接続し、プリンタドライバをコンピュータへインストールする一連の準備をいいます。

セットアップする場合は、以下の流れとなります。

- 1 本機とコンピュータを接続する。（「接続に使用するインターフェース」(p. 1-6) 参照）
- 2 プリンタドライバをインストールする。（「プリンタドライバのインストール」(p. 2-1) 参照）
- 3 ネットワーク接続の場合は、ネットワークを設定する。（「ネットワーク印刷の設定」(p. 3-1) 参照）
- 4 テストプリントをして確認をする。（「テスト印刷」(p. 4-2) 参照）

プリンタドライバのインストールは、本機との接続方法やご使用になるコンピュータの OS、プリンタドライバの種類によって、手順が異なります。



ワンポイントアドバイス

本機とコンピュータを接続する場合は「接続に使用するインターフェース」(p. 1-6) をごらんください。

既存のプリンタドライバをアップデートする場合は、先に既存のプリンタドライバを削除してください。詳しくは、「プリンタドライバをアンインストールする場合」(p. 2-10)、(p. 2-19) をごらんください。

オプションの平行インターフェースを使用する場合は、必要に応じて、PageScope Web Connection や操作パネルの設定でインターフェースのタイムアウト設定やモード（両立、Nibble、ECP）設定を行います。詳しくは、ユーザーズガイド プリンタ機能編「プリントブローカルインターフェース」をごらんください。

5 スクリーンフォントをインストールする。

- User Software CD-ROM および PostScript Printer Driver CD-ROM には、欧文の TrueType フォントが「スクリーンフォント」として添付されています。
- インストールについては、OS 標準のフォントの追加から行います。
- 詳細は、OS のヘルプをごらんください。
- スクリーンフォントは CD-ROM の Screenfont または、Screenfonts フォルダにあります。
- Mac のフォントの場合、フォントが圧縮されていますので、解凍後、インストールをしてください。

2 プリンタドライバのインストール

2.1 プリンタドライバの種類と対応 OS

本プリンティングシステムを使用するためには、プリンタドライバのインストールが必要です。プリンタドライバとは、出力するデータの処理などを制御するプログラムで、使用する前に付属の CD からコンピュータにインストールします。

付属の CD に含まれるプリンタドライバと、対応しているコンピュータの OS は以下のとおりです。必要なプリンタドライバをインストールしてください。

プリンタドライバ	ページ記述言語	対応 OS
PCL コニカミノルタ製 ドライバ	PCL	Windows 98 Second Edition、 Windows Me、 Windows NT4.0 (Service Pack 6a 以降)、 Windows 2000 Professional (Service Pack 4 以降)、 Windows XP Home Edition/Professional (Service Pack 2 以降)、 Windows Server 2003
Vista 用 PCL コニカミノルタ製 ドライバ (VXL)		Windows Vista Home Basic/Home Premium/Ultimate/Business/Enterprise、 Windows Vista Home Basic/Home Premium/Ultimate/Business/Enterprise x64 Edition
PostScript コニカミノルタ製 ドライバ	PostScript3 Emulation	Windows NT4.0 (Service Pack 6a 以降)、 Windows 2000 Professional (Service Pack 4 以降)、 Windows XP Home Edition/Professional (Service Pack 2 以降)、 Windows XP Professional x64、 Windows Server 2003、 Windows Server 2003 x64
Vista 用 PostScript コニカミノルタ製 ドライバ (VPS)		Windows Vista Home Basic/Home Premium/Ultimate/Business/Enterprise、 Windows Vista Home Basic/Home Premium/Ultimate/Business/Enterprise x64 Edition
PostScript PPD ドライバ		Windows 98 Second Edition、 Windows Me Macintosh OS 9.2 以降 Macintosh OS X 10.2/10.3/10.4

* PCL プリンタドライバは「User Software CD-ROM」、PostScript プリンタドライバは「PostScript Printer Driver CD-ROM」に含まれています。

2.2 Windows で使用する場合

Windows プリンタドライバのインストール方法は、接続方法や使用するプリンタドライバによって異なります。また、コンピュータの OS によってインストール方法が異なります。お使いのコンピュータの OS に合わせて、以下の参照ページをごらんください。

プリンタドライバ	接続方法	参照ページ
PCL コニカミノルタ製 ドライバ PostScript コニカミノルタ製 ドライバ	全ての接続方法	「インストーラによる自動インストール」(p. 2-3)
PCL コニカミノルタ製 ドライバ PostScript コニカミノルタ製 ドライバ PostScript PPD ドライバ	ネットワーク 接続	ユーザーズガイド プリンタ機能編「Windows 98SE/ Me/2000/NT 4.0 の場合」 ユーザーズガイド プリンタ機能編「Windows XP/ Server 2003 の場合」 ユーザーズガイド プリンタ機能編「Windows Vista の場合」
	パラレル接続	「プラグアンドプレイを使ったインストール」 (p. 2-5) 「Windows 98SE の場合」(p. 2-5) 「Windows Me/2000 の場合」(p. 2-6) 「Windows XP/Server 2003 の場合」(p. 2-8) 「Windows Vista の場合」(p. 2-9) ユーザーズガイド プリンタ機能編「Windows 98SE/ Me/2000/NT 4.0 の場合」 ユーザーズガイド プリンタ機能編「Windows XP/ Server 2003 の場合」 ユーザーズガイド プリンタ機能編「Windows Vista の場合」
	USB 接続	「プラグアンドプレイを使ったインストール」 (p. 2-5) 「Windows Me/2000 の場合」(p. 2-6) 「Windows XP/Server 2003 の場合」(p. 2-8) 「Windows Vista の場合」(p. 2-9)



ワンポイントアドバイス

ネットワーク環境での設定方法については、「ネットワーク印刷の設定」(p. 3-1) で説明しています。あらかじめ他のネットワークの設定が必要です。ここではローカル接続の方法でインストールします。

Windows XP/Vista/Server 2003/2000/NT 4.0 の場合は、Administrator 権限のあるユーザー名でログオンしてプリンタドライバをインストールしてください。

プリンタドライバは、プリンタの追加ウィザードでもインストール可能ですが、この場合、コンピュータ起動時に、毎回プラグアンドプレイ画面が表示されることがあります。



ご注意)

パラレル接続を行うには、オプションのローカル接続キットが必要です。

インストーラによる自動インストール

本インストーラを利用すると、コンピュータと同じ TCP/IP ネットワーク上の本機や、USB で接続されている本機が自動的に検出され、必要なプリンタドライバがインストールされます。また、手動で指定してインストールすることも可能です。



ワンポイントアドバイス)

ネットワーク接続の場合本機を自動的に検出するため、あらかじめ本機に IP アドレスを設定しておきます。設定方法については、ユーザーズガイド プリンタ機能編「本機の IP アドレスの設定」をご覧ください。

Windows NT4.0/2000/XP/Vista/Server 2003 にインストールするときには、管理者権限が必要です。

USB またはパラレル接続で、新しいハードウェアを追加するためのウィザード画面が表示された場合は、[キャンセル] をクリックしてください。

IPP 印刷を行う場合は、プリンタドライバのインストール時に IPP 印刷用の設定を行うため、ここでプリンタドライバをインストールする必要はありません。IPP 印刷については、ユーザーズガイド プリンタ機能編「IPP 印刷 (Windows 2000/XP/Vista/Server 2003)」をご覧ください。

インストーラの動作環境

OS	Windows 98 Second Edition、Windows Me、Windows NT4.0 (Service Pack 6a 以降) *、Windows 2000 Professional (Service Pack 4 以降)、Windows XP Home Edition/Professional (Service Pack 2 以降)、Windows XP Professional x64 Edition、Windows Vista Home Basic/Home Premium/Ultimate/Business/Enterprise、Windows Vista Home Basic/Home Premium/Ultimate/Business/Enterprise x64 Edition、Windows Server 2003 Standard Edition、Windows Server 2003 x64 Edition
CPU	Pentium 300MHz 以上を推奨
メモリ	64MB 以上 (128MB 以上を推奨)

* Windows NT4.0 で、ネットワークに TCP/IP プロトコルで直接接続されている本機をインストールするには、お使いのコンピュータにあらかじめ Microsoft TCP/IP 印刷サービスがインストールされている必要があります。

インストール

1 Windows プリンタドライバ用の CD をコンピュータの CD-ROM ドライブに入れます。

- PCL ドライバ/Vista 用 PCL ドライバ (VXL) : User Software CD-ROM

インストーラが起動するのを確認し、手順 2 へ進みます。

- PS ドライバ/Vista 用 PS ドライバ (VPS) : PostScript Printer Driver CD-ROM

Windows NT4.0/2000/XP/Server 2003 の場合は、CD-ROM 内の

「Driver¥UserInst.exe」をダブルクリックし、手順 3 へ進みます。

Windows Vista の場合は、CD-ROM 内の

「Driver_Vista¥Setup.exe」(64bit OS の場合は「Setup64.exe」)

をダブルクリックし、手順 3 へ進みます。

2 「プリンタのインストール」をクリックします。

プリンタドライバのインストーラが起動します。



メモ)

Windows Vista にインストールする場合、「ユーザーアカウント制御」に関する画面が表示されるときは、「許可」または「続行」をクリックします。

3 使用許諾契約書の全ての条項に同意する場合は、[同意します] をクリックします。

- 同意していただけない場合は、インストールできません。
- 左下のボックスでインストーラの表示言語を変更することができます。



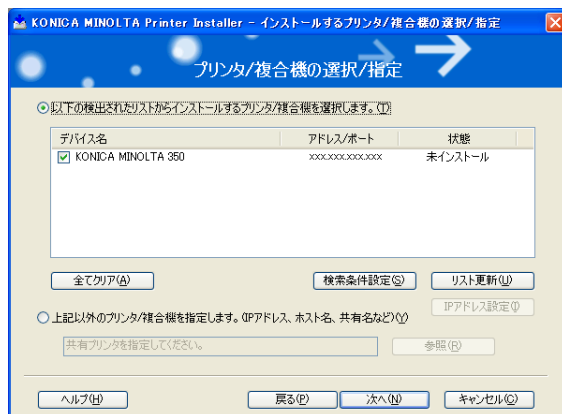
- 4 セットアップの内容を選択する画面が表示された場合は「プリンタのインストール」を選択して [次へ] をクリックします。

接続されているプリンタ・複合機が検出されます。

- 5 本機を選択してインストールを進めます。

以降は、表示される画面にしたがって操作してください。

- 本機の接続が認識できない場合や、パラレル接続の場合は、リストに表示されません。この場合は、画面下部の「上記以外のプリンタ／複合機を指定します。(IP アドレス、ホスト名、共有名など)」を選択し、ボックス内で共有プリンタを指定してください。



プラグアンドプレイを使ったインストール

Windows 98SE の場合

- 1 本機とコンピュータをパラレルケーブルで接続後、本機の主電源を入れます。
- 2 コンピュータを起動します。

- 「新しいハードウェアの追加ウィザード」ダイアログが表示されます。



ご注意)

コンピュータの起動中は、ケーブルの抜き差しを行わないでください。

- 3 Windows プリンタドライバ用の CD をコンピュータの CD-ROM ドライブに入れます。
 - PCL コニカミノルタ製ドライバ : User Software CD-ROM
 - PostScript コニカミノルタ製ドライバ : PostScript Printer Driver CD-ROM
 - 4 [次へ] をクリックします。
 - 5 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する (推奨)」を選択し、[次へ] をクリックします。
 - 6 「検索場所の指定」を選択し、[参照] をクリックします。
 - 7 CD-ROM 内のプリンタドライバのあるフォルダを使用する OS やプリンタドライバに応じて指定し、[OK] をクリックします。
 - PCL コニカミノルタ製ドライバ : User Software CD-ROM
「Driver¥Drivers¥350_250_200」フォルダ
 - PostScript PPD ドライバ : PostScript Printer Driver CD-ROM
「Driver¥PS-PPD」フォルダ
 - 8 [次へ] をクリックし、画面の指示にしたがって操作します。
 - 9 インストール終了後、インストールしたプリンタアイコンが「プリンタ」ウィンドウに表示されていることを確認します。
 - 10 CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。
- これで、プリンタドライバのインストールが完了しました。

Windows Me/2000 の場合

- 1 本機とコンピュータをパラレルケーブルまたは USB ケーブルで接続後、本機の主電源を入れます。
- 2 コンピュータを起動します。
 - 「新しいハードウェアの検出ウィザード」(Windows Me の場合は、「新しいハードウェアの追加ウィザード」) ダイアログが表示されます。



ご注意)

コンピュータの起動中には、ケーブルの抜き差しを行わないでください。

- 3 Windows プリンタドライバ用の CD をコンピュータの CD-ROM ドライブに入れます。

- PCL コニカミノルタ製ドライバ : User Software CD-ROM
- PostScript コニカミノルタ製ドライバ : PostScript Printer Driver CD-ROM

- 4 「デバイスに最適なドライバを検索する（詳細）」（Windows Me の場合は、「適切なドライバを自動的に検索する（詳細）」）を選択し、[次へ] をクリックします。

- 5 Windows 2000 の場合は、「場所の指定」を選択し、[次へ] をクリックします。

Windows Me の場合は、「検索場所の指定」を選択し、[参照] をクリックします。

- 6 CD-ROM 内のプリンタドライバのあるフォルダを使用する OS やプリンタドライバに応じて指定し、[OK] をクリックします。

選択できるプリンタドライバ：

OS	プリンタドライバ	CD
Windows Me	PCL コニカミノルタ製	User Software CD-ROM 「Driver¥Drivers¥350_250_200」フォルダ
	PostScript PPD	PostScript Printer Driver CD-ROM 「Driver¥PS-PPD」フォルダ
Windows 2000	PCL コニカミノルタ製	User Software CD-ROM 「Driver¥Drivers¥350_250_200」フォルダ
	PostScript コニカミノルタ製	PostScript Printer Driver CD-ROM 「Driver¥Drivers¥350_250_200」フォルダ

- 7 [OK]（Windows Me の場合は、[次へ]）をクリックし、画面の指示にしたがって操作します。

- 8 [完了] をクリックします。

- 9 インストール終了後、インストールしたプリンタアイコンが「プリンタ」ウィンドウに表示されていることを確認します。

- 10 CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。

これで、プリンタドライバのインストールが完了しました。

Windows XP/Server 2003 の場合

- 1 本機とコンピュータをパラレルケーブルまたは USB ケーブルで接続後、本機の主電源を入れます。

- 2 コンピュータを起動します。

- 「新しいハードウェアの検出ウィザード」ダイアログが表示されます。



ご注意)

コンピュータの起動中は、ケーブルの抜き差しを行わないでください。

- 3 Windows プリンタドライバ用の CD をコンピュータの CD-ROM ドライブに入れます。

- PCL コニカミノルタ製ドライバ : User Software CD-ROM
- PostScript コニカミノルタ製ドライバ : PostScript Printer Driver CD-ROM

- 4 「一覧または特定の場所からインストールする (詳細)」を選択し、[次へ] をクリックします。

- 5 「次の場所で最適のドライバを検索する」から「次の場所を含める」を選択し、[参照] をクリックします。

- 6 CD-ROM 内のプリンタドライバのあるフォルダを使用する OS やプリンタドライバに応じて指定し、[OK] をクリックします。

- PCL コニカミノルタ製ドライバ : User Software CD-ROM
「Driver¥Drivers¥350_250_200」フォルダ
- PostScript コニカミノルタ製ドライバ : PostScript Printer Driver CD-ROM
「Driver¥Drivers¥350_250_200」フォルダ

- 7 [次へ] をクリックし、画面の指示にしたがって操作します。



ワンポイントアドバイス)

「デジタル署名」に関する画面が表示されるときは、[続行] をクリックします。

- 8 [完了] をクリックします。

- 9 インストール終了後、インストールしたプリンタアイコンが「プリンタと FAX」ウィンドウに表示されていることを確認します。

10 CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。

これで、プリンタドライバのインストールが完了しました。

Windows Vista の場合

1 本機とコンピュータをパラレルケーブルまたは USB ケーブルで接続後、本機の主電源を入れます。

2 コンピュータを起動します。

「新しいハードウェアが見つかりました」ダイアログが表示されます。



...

ご注意)

コンピュータの起動中は、ケーブルの抜き差しを行わないでください。



...

ワンポイントアドバイス)

「新しいハードウェア」ダイアログが表示されない場合は、本体の電源を OFF/ON してください。

電源を OFF/ON するときには、OFF にしたあと、約 10 秒たってから ON にしてください。すぐに ON にすると正常に機能しないことがあります。

3 「ドライバソフトウェアを検索してインストールします（推奨）」を選択します。

ディスクを要求するダイアログが表示されます。



...

メモ)

ディスクがない場合は、「ディスクはありません。他の方法を試します」をクリックします。次の画面で「コンピュータを参照してドライバソフトウェアを検索します（上級）」を選択して目的のプリンタドライバフォルダを指定してください。

- PCL コニカミノルタ製ドライバ (VXL) : User Software CD-ROM 「Driver_Vista¥Drivers¥PCLXL¥言語フォルダ ¥Win_x86 (64bit OS の場合は「Win_x64」)」 フォルダ
- PostScript コニカミノルタ製ドライバ (VPS) : PostScript Printer Driver CD-ROM 「Driver_Vista¥Drivers¥PS¥言語フォルダ ¥Win_x86 (64bit OS の場合は「Win_x64」)」 フォルダ

- 4 Vista用プリンタドライバのCDをコンピュータのCD-ROMドライブに入れます。

- PCL コニカミノルタ製ドライバ (VXL) : User Software CD-ROM
- PostScript コニカミノルタ製ドライバ (VPS) : PostScript Printer Driver CD-ROM

ディスク内の情報が検索され、本機に対応するソフトウェアの一覧が表示されます。

- 5 目的のプリンタドライバ名を指定し、[次へ] をクリックします。

選べるプリンタドライバ:

Windows Vista : PCL ドライバ (VXL)、PostScript ドライバ (VPS)

- 6 画面の指示にしたがって操作します。



ワンポイントアドバイス

「ユーザーアカウント制御」に関する画面が表示されるときは、**[続行]** をクリックします。

「Windows セキュリティ」の画面が表示されるときは、「このドライバソフトウェアをインストールします」をクリックします。

- 7 インストールが終了したら [閉じる] をクリックします。

- 8 インストール終了後、インストールしたプリンタアイコンが「プリンタ」ウィンドウに表示されていることを確認します。

- 9 CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。

これで、プリンタドライバのインストールが完了しました。

プリンタドライバをアンインストールする場合

プリンタドライバを再インストールするときなど、プリンタドライバを削除する必要がある場合は、以下の手順でドライバを削除してください。

- 1 Windows 98SE/Me/2000/NT 4.0 の場合は、[スタート] をクリックし、「設定」→「プリンタ」をクリックします。
Windows XP/Server 2003 の場合は、[スタート] をクリックして、「プリンタとFAX」をクリックします。
Windows Vista の場合は、[スタート] をクリックして「コントロールパネル」を開き、「ハードウェアとサウンド」の「プリンタ」をクリックします。

**メモ)**

Windows XP/Server 2003 で [スタート] メニューに「プリンタと FAX」が表示されていない場合は、[スタート] メニューから [コントロールパネル] を開き、「プリンタとその他のハードウェア」を選び、さらに「プリンタと FAX」を選びます。

Windows Vista で「コントロールパネル」がクラシック表示になっている場合は、「プリンタ」をダブルクリックします。

- 2 「プリンタ」(Windows XP/Server 2003 の場合は「プリンタと FAX」) ウィンドウで、削除したいプリンタのアイコンを選択します。
- 3 コンピュータの [Delete] キーを押し、プリンタドライバを削除します。
- 4 あとは、画面の指示にしたがって操作します。
 - 削除が終了すると「プリンタ」(Windows XP/Server 2003 の場合は「プリンタと FAX」) ウィンドウからアイコンが消えます。

Windows 98SE/Me/NT 4.0 の場合は、これでアンインストール完了です。手順 11 に進みます。

Windows 2000/XP/Vista/Server 2003 の場合は、引き続きサーバーのプロパティでプリンタドライバを削除します。
- 5 「サーバーのプロパティ」を開きます。
 - Windows 2000/XP/Server 2003 の場合は、「ファイル」メニューをクリックし、「サーバーのプロパティ」をクリックします。
 - Windows Vista の場合は、「プリンタ」ウィンドウの何もない部分を右クリックし、「管理者として実行」－「サーバーのプロパティ」をクリックします。
- 6 「ドライバ」タブをクリックします。
- 7 「インストールされたプリンタドライバ」一覧から、削除したいプリンタドライバを選択し、[削除] をクリックします。
 - Windows 2000/XP/Server 2003 の場合は、手順 9 に進みます。
 - Windows Vista の場合は、手順 8 に進みます。
- 8 削除の対象を確認する画面で「ドライバとパッケージを削除する」を選択して、[OK] をクリックします。

9 削除を確認する画面で「はい」をクリックします。

- Windows Vista の場合は、さらに削除を確認する画面が表示されますので「削除」をクリックします。

10 [プリントサーバーのプロパティ] 画面と「プリンタ」(Windows XP/Server 2003 の場合は「プリンタと FAX」) ウィンドウを閉じます。

11 コンピュータを再起動します。



...
ご注意)

必ず再起動してください。



...
メモ)

上記の方法でプリンタドライバを削除しても、Windows 2000/XP/Server 2003 の場合は、機種情報ファイルはコンピュータに残ります。このため同一バージョンのプリンタドライバを再インストールする場合、ドライバが書き替えできない場合があります。この場合以下のファイルも削除してください。

「C:\%WINDOWS%\system32\spool\drivers\w32x86」フォルダを確認し、該当機種のフォルダがあれば削除します。ただし、PCL コニカミノルタ製ドライバと PostScript コニカミノルタ製ドライバの両方がインストールされている場合は、両方の機種情報が削除されます。一方のドライバを残す場合は削除しないでください。

「C:\%WINDOWS%\inf」フォルダにある「oem*.inf」と「oem*.PNF」を削除します（ファイル名の「*」は番号を示し、番号はコンピュータの環境により異なります）。削除する前に inf ファイルを開いて、最後の数行に記述してある機種名を確認し、該当機種のファイルであることを確認してください。

PNF ファイルは inf ファイルと同じ番号となります。

Windows Vista で「ドライバとパッケージを削除する」で操作した場合は、この作業は不要です。

これでプリンタドライバの削除は完了です。

2.3 Macintosh で使用する場合

Macintosh プリンタドライバのインストール方法は、Mac OS のバージョンおよび使用するドライバによって異なります。お使いの Mac OS に合わせて、以下の参照ページをごらんください。

Mac OS	プリンタドライバ	参照ページ
Macintosh OS X 10.2/10.3/10.4	PostScript PPD	「プリンタドライバのインストール」 (p. 2-13)
Macintosh OS 9.2 以降	PostScript PPD	「プリンタの選択」(p. 2-15)

プリンタドライバのインストール

Macintosh OS X の場合

- 1 Macintosh を起動します。
- 2 Macintosh 用の CD をコンピュータの CD-ROM ドライブに入れます。



ご注意)

アプリケーションソフトが起動しているときは、全て終了しておきます。

- 3 CD の「Japanese」－「Driver」－「OS10_2_x」または「OS10_3_x」フォルダをダブルクリックして開きます。
- 4 Mac OS のバージョンに合わせて、ドライバ用のファイルをデスクトップ上にコピーします。

OS X 10.2 : KONICAMINOLTA_350_102.pkg
 OS X 10.3 : KONICAMINOLTA_350_103.pkg
 OS X 10.4 : KONICAMINOLTA_350_103.pkg

- 5 デスクトップ上にコピーしたファイルをダブルクリックします。



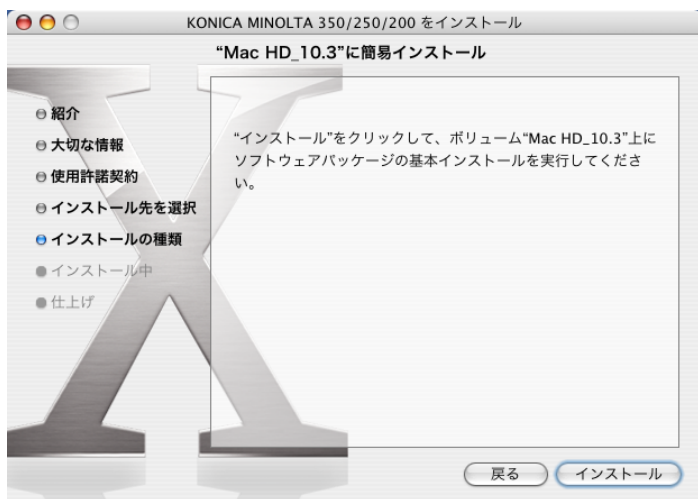
ワンポイントアドバイス)

途中で、管理者の名前とパスワードを要求されますので入力してください。

管理者の名前とパスワードは、ネットワーク管理者にお問合わせください。

[キャンセル] を押すと、インストーラは終了します。

- 6 「インストール」画面が表示されるまで、画面の指示にしたがって[続ける]をクリックします。
- 7 「簡易インストール」画面で、[インストール]をクリックします。
 - プリンタドライバがコンピュータにインストールされます。インストールが終了すると、メッセージが表示されます。



ワンポイントアドバイス)

2回目以降のインストールでは、[インストール] ボタンが [アップグレード] に変わることがあります。

- 8 [閉じる] をクリックします。

これで、プリンタドライバのインストールが完了しました。

続いて、プリンタの選択をしてください。

プリンタの選択

Macintosh OS X の場合

本機接続後、[プリントセンター]（または [プリンタ設定ユーティリティ]）で使用するプリンタを選択すると、プリンタとして使用できません。



ワンポイントアドバイス

AppleTalk 接続をする場合は、本機の AppleTalk 設定が必要です。
AppleTalk 設定については、ユーザーズガイド プリンタ機能編
「Macintosh による利用」をごらんください。

- 1 インストールされた「HDD」－「アプリケーション」－「ユーティリティ」内にある [プリントセンター]（または [プリンタ設定ユーティリティ]）をダブルクリックして開きます。
- 2 「プリンタの追加」画面が表示された場合は、[追加] をクリックします。プリンタリストが表示された場合は、[追加] をクリックします。
 - OS X 10.4 は手順 3 に進みます。
 - OS X 10.2 と 10.3 は手順 4 に進みます。



ワンポイントアドバイス

すでに使用可能なプリンタを設定している場合は、「プリンタの追加」画面は表示されません。

- 3 本機が AppleTalk 接続のプリンタとして出現した場合は、「使用するドライバ」で「KONICA MINOLTA」を選択し、機種一覧から「KONICA MINOLTA 350/250/200 PS」を選択して [追加] をクリックします。
 - 選択したプリンタが「プリンタリスト」に登録されると、設定は終了です。

- プリンタとして出現しない場合や別の接続方法で接続する場合は、[ほかのプリンタ] をクリックして手順 4 に進みます。



- 4 該当する接続方法とプリンタ名を選択します。



ワンポイントアドバイス)

プリンタ名は、PageScope Web Connection の AppleTalk 設定で確認できます。詳しくは、ユーザーズガイド プリンタ機能編「Macintosh による利用」をごらんください。

IP プリントでプロトコルに「IPP」を指定する場合は、キュー名の入力欄が表示されます。OS 10.3 の場合はキュー名を空欄にしてください。OS 10.4 の場合は、キュー名に「ipp」と入力してください。

以下の手順は、接続方法で AppleTalk を選択した場合を例に説明します。

- 5 「プリンタの機種」をクリックし、「KONICA MINOLTA」を選択します。

- 6 「KONICA MINOLTA 350/250/200 PS」を選択し、[追加] をクリックします。



選択したプリンタが「プリンタリスト」に登録されます。

Macintosh OS 9.2 の場合

本機に接続後、「セレクト」で PostScript プリンタを選択し、「プリンタ記述ファイル (PPD ファイル)」を指定すると、プリンタとして使用できるようになります。

まず、「プリンタ記述ファイル (PPD ファイル)」をコンピュータにコピーします。

- 1 Macintosh 用の CD をコンピュータの CD-ROM ドライブに入れます。
- 2 CD の「Japanese」－「Driver」－「OS 9_x」フォルダをダブルクリックして開きます。
- 3 「KONICAMINOLTA350JVxxx.ppd」の PPD ファイルを選択し、コンピュータの「HDD」－「システムフォルダ」－「機能拡張」－「プリンタ記述ファイル」内にコピーします。

続いて、プリンタを選択します。

プリンタドライバは、Macintosh 標準の LaserWriter を使用します。

- 4 「アップルメニュー」の「セレクト」を選択します。
- 5 「AppleTalk」が「使用」になっていることを確認して、[LaserWriter] アイコンをクリックします。

- 6 「PostScript プリンタの選択」一覧から、プリンティングシステムに該当するプリンタ名をクリックし、[作成] をクリックします。

- PostScript プリンタ記述 (PPD) ファイルの選択画面が表示されます。



ワンポイントアドバイス)

プリンタ名は、PageScope Web Connection の AppleTalk 設定で確認できます。詳しくは、ユーザーズガイド プリンタ機能編「Macintosh による利用」をごらんください。

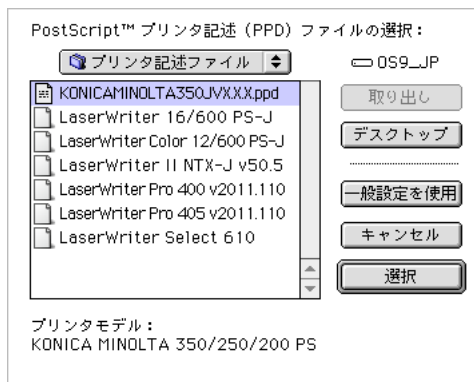


ご注意)

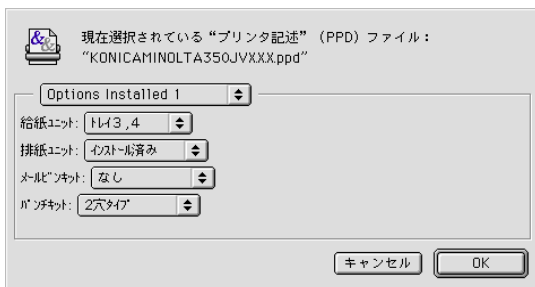
すでに別の PPD ファイルが選択されている場合は、手順 6 で [再設定] をクリックし、さらに表示される画面で [PPD の選択] をクリックします。

- 7 該当する PPD ファイルをクリックし、[選択] (または [開く]) をクリックします。

- 追加オプションの設定画面が表示されます。



- 8 「Options Installed 1」と「Options Installed 2」の各画面で本機に装着しているオプションを設定します。



- 9 [OK] をクリックします。

○ 「セレクト」画面にもどります。

- 10 「セレクト」画面を閉じます。

プリンタドライバをアンインストールする場合

プリンタドライバを再インストールするときなど、プリンタドライバを削除する必要がある場合は、以下の手順でドライバを削除してください。



ご注意

アプリケーションソフトが起動しているときは、全て終了しておきます。

Macintosh OS X の場合

- 1 「HDD」－「アプリケーション」－「ユーティリティ」内にある
[プリントセンター]（または[プリンタ設定ユーティリティ]）をダブルクリックして開きます。
- 2 削除するプリンタ名を選択し、[削除] をクリックします。
 - 選択したプリンタが削除されます。
- 3 「プリンタリスト」を閉じます。

- 4 インストールした「HDD」の「ライブラリ」－「Printers」－「PPDs」－「Contents」－「Resoures」－「ja.lproj」内の以下のファイルを「ゴミ箱」へドラッグします。

○ 「KONICA MINOLTA 350.gz」

- 5 「ライブラリ」－「Printers」内の不要なファイルを削除します。

OS 10.3 /10.4 の場合は、「ライブラリ」－「Printers」－「KONICAMINOLTA」－「filter」内の「pstokm350」フォルダと、「ライブラリ」－「Printers」－「KONICAMINOLTA」－「PDEs」内の以下の4つのフォルダを「ゴミ箱」へドラッグします。

- KONICAMINOLTA350 Finishing.plugin
- KONICAMINOLTA350 ImageLayout.plugin
- KONICAMINOLTA350 Security.plugin
- KONICAMINOLTA350 Setup.plugin

OS 10.2 の場合は、「ライブラリ」－「Printers」－「PPD Plugins」内の以下の4つのフォルダを「ゴミ箱」へドラッグします。

- KONICAMINOLTA350 Finishing.plugin
- KONICAMINOLTA350 ImageLayout.plugin
- KONICAMINOLTA350 Security.plugin
- KONICAMINOLTA350 Setup.plugin

OS 10.2 の場合は、続いて、[移動]－[フォルダへ移動]で「/usr」を入力して「/usr」フォルダへ移動し、「libexec」－「cups」－「filter」内の「pstokm350」フォルダをゴミ箱へドラッグします。

- 6 コンピュータを再起動します。

これでプリンタドライバの削除は完了です。

Macintosh OS 9.2 の場合

- 1 「HDD」－「システムフォルダ」－「機能拡張」－「プリンタ記述ファイル」内の「KONICAMINOLTA350JVxxx.ppd」の PPD ファイルを選択し、「ゴミ箱」へドラッグします。

○ プリンタドライバ関連ファイルが削除されます。

- 2 コンピュータを再起動します。

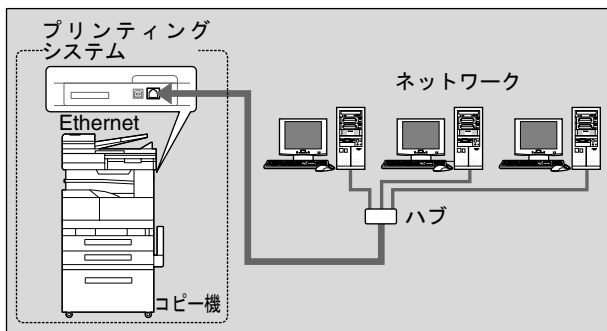
これでプリンタドライバの削除は完了です。

3 ネットワーク印刷の設定

3.1 ネットワーク機能の概要

ネットワーク機能とは

本機の Ethernet をネットワークに接続すると、本プリンティングシステムをネットワークプリンタとして使用できます。



本プリンティングシステムは、100Base-TX および 10Base-T 規格に対応しています。また、プロトコルは TCP/IP (LPD/LPR、IPP、Windows 印刷)、NetBEUI (Windows 印刷)、IPX/SPX (NetWare)、AppleTalk (EtherTalk) などに対応しています。



ご注意

Windows 印刷は、PCL プリンタドライバでのみ利用できます。



ワンポイントアドバイス

ネットワーク設定を行う場合、「管理者モード」に入る管理者パスワードが必要です。

管理者パスワードについては、本機の管理者におたずねください。

ネットワーク機能の特徴

本プリンティングシステムは、さまざまなネットワーク環境に柔軟に対応できるよう、以下のネットワーク機能を備えています。

- 10Base-T / 100Base-TX (Fast Ethernet) の自動選択。
- マルチプロトコルに対応 (TCP/IP、NetBEUI、IPX/SPX、AppleTalk (EtherTalk))
- Windows 98SE/Me からの Windows 印刷 (SMB 印刷) をサポート。
- Windows NT 4.0/2000/XP/Vista で TCP/IP 上の LPD/LPR をサポート。
- Novell Netware の Pserver および Rprinter (Nprinter) の両方をサポート。
- Novell NetWare のプリントサーバ機能に対応し、バインダリモードと Novell DirectoryService (NDS) の両方をサポート。
- DHCP で自動 IP アドレス取得が可能。

Windows 印刷による利用 (Windows 98SE/Me)

Windows 98SE/Me を OS とするコンピュータで、専用のプリントサーバを必要としない印刷方法です。



ご注意

Windows 印刷は、PCL プリンタドライバでのみ利用できます。

LPR による利用 (Windows NT 4.0/2000/XP/Vista)

Windows NT 4.0/2000/XP/Vista で、LPD/LPR による印刷ができます。
Windows 98SE/Me では利用できません。



ワンポイントアドバイス

LPR (Line Printer Request) : Windows NT4.0/2000/XP/Vista で利用できるプリント要求方式です。キュー名は「Print」と入力します。

Port9100 による利用 (Windows98SE/Me/2000/XP/Vista)

Windows98SE/Me/2000/XP/Vista で、Port9100 による印刷 (Raw 印刷) ができます。

**ご注意)**

Windows 98SE/Me で Port9100 接続を利用する場合、Peer to Peer Printing Tool のインストールが必要となる場合があります。

Peer to Peer Printing Tool の入手については、製品を購入した販売店にお問い合わせください。

NetWare による利用

Novell NetWare 4.x ~ 6 の、プリントサーバ機能に対応しています。

ネットワーク OS として Novell NetWare 4.x ~ 6 が使用されているネットワークに本プリンティングシステムを接続し、クライアントからプリントサーバ（ネットワークコントローラ）にプリント指示を送ることができます。対応モードは、以下の 3 種類です。

- Nprinter
- Pserver
- NDS/NDPS

**ワンポイントアドバイス)**

NetWare の機能の詳細は、NetWare の操作説明書をごらんください。

Macintosh による利用

Macintosh から、LPR または AppleTalk による印刷ができます。

AppleTalk 環境のプリントサーバに本プリンティングシステムを接続し、Macintosh から本機にプリント指示を送ることができます。

各 Windows OS で選択可能なネットワーク接続方式

この章では、ネットワーク印刷に必要な設定について説明しています。

ネットワーク印刷方法（Windows 印刷、LPR 印刷、IPP 印刷）により、設定方法が異なります。ご使用の環境に最適なネットワーク印刷方法を選択してください。

Windows OS からのネットワーク印刷方法

	使用する プロトコル	Windows 98SE	Windows Me	Windows 2000	Windows XP/Vista	Windows NT 4.0	Windows Server 2003
Windows 印刷	TCP/IP、 NetBEUI	△	△	△	△	△	△
LPR 印刷	TCP/IP			○	○	○	○
IPP 印刷	TCP/IP			○	○		○
Port9100 印刷	TCP/IP	△ *	△ *	○	○		○

* Windows 98SE/Me で Port9100 印刷を利用する場合、Peer to Peer Printing Tool のインストールが必要となる場合があります。
詳細については、下表をごらんください。

Port9100 使用時に Peer to Peer Printing Tool のインストールが必要な場合

	オペレーティングシステム			
	Windows 98SE/Me		Windows 2000/XP/Vista/2003	
ドライバ種類	インストーラ 使用	インストーラ 使用せず	インストーラ 使用	インストーラ 使用せず
PCL コミカミノルタ製	不要 *1	必要	不要 *4	
PostScript コミカ ミノルタ製	－ *2			
PostScript PPD	－ *3	必要	－ *2	

*1 本機をネットワークに接続した状態で、インストーラを利用したプリンタドライバのインストールをすると、自動的に必要な Peer to Peer Printing Tool もインストールされ、Port9100 が作成される

*2 プリンタドライバがオペレーティングシステムに非対応

*3 インストーラによるプリンタドライバのインストールに非対応

*4 オペレーティングシステム標準の機能を使用するため不要

- Peer to Peer Printing Tool の入手については、製品を購入した販売店にお問い合わせください。
- Peer to Peer Printing Tool をインストールした場合のドライバ側の設定については、ユーザーズガイド プリンタ機能編「Port9100 印刷（Windows 98SE/Me/2000/XP/Vista/Server 2003）」をごらんください。

- Windows 印刷をご利用いただくと、Peer to Peer Printing Tool などのソフトウェアをインストールせずにネットワークプリントを行うことができます。Windows 印刷については、ユーザーズガイド プリント機能編「Windows 印刷による利用」をごらんください。



...

ご注意)

ネットワーク印刷の設定を行う前に、プリンタドライバをインストールしておいてください。詳しくは、「プリンタドライバのインストール」(p. 2-1) をごらんください。

ネットワーク印刷を行うには、インストールしたプリンタドライバのプリントのポートをネットワーク接続用に変更し、必要に応じて本機の設定を変更します。

ただし、IPP 接続の場合は、プリンタドライバのインストールから行う必要があります。

Windows 印刷は、PCL プリンタドライバでのみ利用できます。
PostScript プリンタドライバでネットワーク印刷をする場合は、LPR 印刷または Port9100 印刷を利用してください。

NetWare 環境でのネットワーク印刷方法

NetWare バージョン	使用するプロトコル	エミュレーション	サービスモード
NetWare 4.x	IPX	NDS / バインダリ	Pserver/Nprinter
NetWare 5.x/6	IPX	NDS	Pserver
	TCP/IP	NDPS(lpr)	

3.2 PageScope Web Connection へのアクセス方法

本機の IP アドレスを設定すると、PageScope Web Connection へアクセスできるようになります。

PageScope Web Connection へは、Web ブラウザで直接アクセスします。

- 1 Web ブラウザを起動します。
- 2 URL フィールドに、以下のように本機の IP アドレスを入力して、[Enter] キーを押します。
 - http:// <本機の IP アドレス> /
例：本機の IP アドレスが 192.168.1.20 の場合
http://192.168.1.20/

PageScope Web Connection の画面が表示されます。

PageScope Web Connection については、ユーザーズガイド プリンタ機能編「PageScope Web Connection の使い方」をごらんください。

4 色々な印刷方法

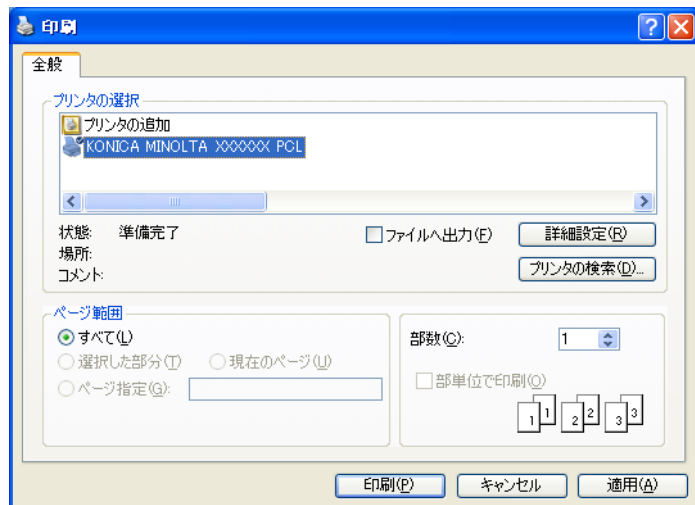
4.1 印刷操作

Windows の場合

プリンタドライバのインストールやネットワーク設定が完了すると、プリントできるようになります。通常、プリントはアプリケーションソフトウェアから指定します。

- 1 アプリケーションソフトウェアでデータを開き、[ファイル] をクリックしてメニューから「印刷」（または「プリント」）をクリックします。
- 2 「プリンタ名」（または「プリンタの選択」）でプリントしたいプリンタ名が選択されているか確認します。

目的のプリンタが選択されていないときは、クリックして選択します。



ワンポイントアドバイス

「印刷」画面は、アプリケーションソフトウェアによって異なります。

- 3 プリントするページ範囲や部数を設定します。



ご注意)

PPD ドライバの場合は、本機側の「デフォルト設定」で複数部数が設定されていると、本機側の設定が優先されることがあります。

- 4 必要に応じて [プロパティ] (または [詳細設定]) をクリックし、プリンタドライバの設定を変更します。



ご注意)

「印刷」画面で [プロパティ] や [詳細設定] をクリックすると、プリンタドライバの設定画面が表示され、各種機能を設定できます。詳しくは、ユーザズガイド プリンタ機能編「PCL ドライバの設定」または「PostScript ドライバの設定 (Windows)」、「VXL/VPS ドライバの設定 (Windows Vista)」、「PPD ドライバの設定 (Windows)」をごらんください。

「印刷」画面から変更したプリンタドライバの設定は保存されず、アプリケーションソフトウェアを終了すると元にもどります。

「印刷」画面の「部単位で印刷」機能は指定しないでください。

- 5 「印刷」をクリックします。

コピー機のデータランプが点滅します。

テスト印刷

プリンタドライバのインストールやネットワーク設定が完了すると、プリントできるようになります。正しく接続されているかどうか確認するときは、Windows 標準のテストページが利用できます。

テストページは、プリンタドライバのプロパティから行います。

- 1 Windows 98SE/Me/2000/NT 4.0 の場合は、[スタート] をクリックし、「設定」－「プリンタ」をクリックします。
Windows XP/Server 2003 の場合は、[スタート] をクリックし、「プリンタと FAX」をクリックします。
Windows Vista の場合は、[スタート] をクリックして「コントロールパネル」を開き、「ハードウェアとサウンド」の「プリンタ」をクリックします。



...

メモ)

Windows XP/Server 2003 で [スタート] メニューに「プリンタと FAX」が表示されていない場合は、[スタート] メニューから [コントロールパネル] を開き、「プリンタとその他のハードウェア」を選び、さらに「プリンタと FAX」を選びます。

Windows Vista で「コントロールパネル」がクラシック表示になっている場合は、「プリンタ」をダブルクリックします。

- 2 インストールしたプリンタのアイコンを右クリックして「プロパティ」をクリックします。
- 3 「全般」タブを選択し、[テストページの印刷]（または [印字テスト]）をクリックします。
テストページがプリントされ、確認画面が表示されます。
- 4 確認したら、[OK]（または [はい]）をクリックします。



...

ご注意)

正しくプリントされない場合は、正しいプリンタドライバがインストールされていること、ネットワーク設定が完了していることを確認してください。

Macintosh の場合

プリンタドライバのインストールやネットワーク設定が完了すると、プリントできるようになります。通常、プリントはアプリケーションソフトウェアから指定します。

Mac OS X の場合

- 1 アプリケーションでデータを開き、[ファイル] をクリックしてメニューから「プリント」（または「印刷」）をクリックします。



...

ご注意)

Mac OSX 10.3.x で一部のアプリケーションでプリンタアイコンを使用してプリントした場合、プリント速度が遅くなる場合がありますので、必ず、ファイルメニューからプリントを指定してください。

- 2 「プリンタ名」でプリントしたいプリンタ名が選択されているか確認します。



- 3 部数と印刷範囲を設定して、[プリント] をクリックします。
コピー機のデータランプが点滅します。



ワンポイントアドバイス

プリンタが表示されないときは、[プリントセンター]（または [プリンタ設定ユーティリティ]）でプリンタを選択します。詳しくは、「プリンタの選択」(p. 2-15) をご覧ください。

「プリント」画面はアプリケーションによって異なります。



ご注意

本機例の「デフォルト設定」で複数部数が設定されていると、本機例の設定が優先されることがあります。

「プリント」画面の「丁合い」機能は指定しないでください。

Mac OSX 10.2.x でカラーデータを含んだデータをプリントした場合、プリント速度が遅くなる場合があります。

Mac OS 9.2 の場合

- 1 アプリケーションでデータを開き、[ファイル] をクリックしてメニューから「プリント」（または「印刷」）をクリックします。
- 2 「プリンタ名」でプリントしたいプリンタ名が選択されているか確認します。

3 「一般設定」を選択します。




ワンポイントアドバイス)

プリンタが表示されないときは、「セレクト」でプリンタを選択します。詳しくは、「プリンタの選択」(p. 2-15)をごらんください。

「プリント」画面はアプリケーションによって異なります。

[設定を保存] をクリックすると、設定内容が保存されます。

4 部数と印刷範囲を設定して、[プリント] をクリックします。

コピー機のデータランプが点滅します。



ご注意)

本機側の「デフォルト設定」で複数部数が設定されていると、本機側の設定が優先されることがあります。

4.2 プリンタ機能を設定するには

コンピュータからプリントするときでも、ソートや製本など、本機の機能を指定できます。本機の機能の設定方法は、接続しているコンピュータの OS によって異なります。

機能一覧

印刷に関する主な設定項目とプリンタドライバの対応をまとめています。



ワンポイントアドバイス

機能の名称は、Windows XP の PCL プリンタドライバで表示されるものを基本的に記載しています。また、記載されている項目や設定値はオプションの有無や設定によって表示が異なる場合があります。

機能	概要	プリンタドライバ		
		PCL	Post Script	PPD
原稿の向き	用紙の方向を選択します。	○	○	○
原稿サイズ	原稿の用紙サイズを設定します。	○	○	
出力サイズ	プリントする用紙のサイズを設定します。	○	○	○
ズーム	拡大・縮小してプリントします。	○	○	○
給紙トレイ	プリントする給紙トレイを選択します。	○	○	○
用紙種類	給紙トレイの用紙種類を設定します。	○	○	○
とじ位置 (開き方向 / とじ方向)	とじ位置を選択します。	○	○	○
印刷種類	印刷種類（片面、両面、小冊子）を選択します。	○	○	○
ページ割付	複数ページを 1 枚の用紙に割付けてプリントします。	○	○	○
とじしろ	パンチ穴をあけたり、ステーブル止めるための余白をつけます。	○		
ステーブル	ステーブル止めをします。	○	○	○
中とじ	2 つ折りに製本します。	○	○	○
パンチ穴	パンチ穴を開けます。	○	○	○
出力方法 (ジョブ管理)	通常のプリントのほか、機密プリントやボックス保存など特殊な出力形態を選択します。	○	○	△ (Mac OS X のみ)
部数	プリントする部数を指定します。	○	○	○

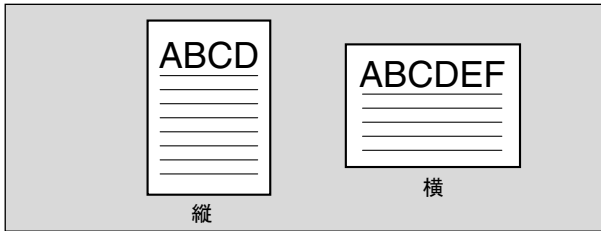
機能	概要	プリンタドライバ		
		PCL	Post Script	PPD
排紙トレイ	用紙を排出するトレイを選択します。	○	○	○
ソート	複数ページのデータを1部ずつまとめてプリントします。	○	○	○
仕分け	複数部数をプリントするときに、1部ずつ位置をずらして排出します。	○	○	○
白紙抑制	データに白ページがある場合、プリントしません。	○		
オモテ表紙 (表カバー)	表紙を付けてプリントします。	○	○	○
ウラ表紙 (裏カバー)	ウラ表紙を付けてプリントします。	○	○	○
OHP 合紙	OHP フィルムに合紙を付けてプリントします。	○	○	○
ページ単位設定	ページ単位で用紙やトレイを切換ええます。	○		
フォーム (オーバーレイ)	別途作成したフォームデータと原稿を重ねてプリントします。	○	△ (Vistaのみ)	
ウォーターマーク	文書にウォーターマーク (文字スタンプ) を重ね合わせてプリントします。	○	○	
ナンバリング	部数番号を付けてプリントします。	○		
プリンタフォントを使用する	TrueType フォントをプリンタフォントに置換える設定を行います。	○	○	○
ユーザ認証	登録したユーザ名 とパスワードを入力してからプリントを行います。	○	○	△ (Mac OS Xのみ)
部門管理	部門管理を行います。	○	○	△ (Mac OS Xのみ)

機能概要

各機能の概要をまとめています。

原稿の向き

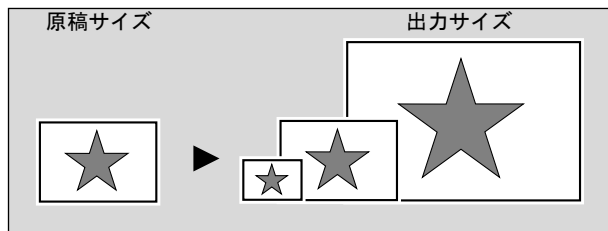
用紙に対する印刷方向を「縦」または「横」に設定します。



OS	プリンタドライバ	参照先
Windows	PCL コニカミノルタ製	ユーザーズガイド プリンタ機能編 「セットアップタブの設定」
	PostScript コニカミノルタ製	ユーザーズガイド プリンタ機能編 「セットアップタブの設定」
	Vista 用 PCL ドライバ (VXL) Vista 用 PostScript ドライバ (VPS)	ユーザーズガイド プリンタ機能編 「基本設定タブの設定」
	PostScript PPD	ユーザーズガイド プリンタ機能編 「用紙タブの設定」
Macintosh OS X	PostScript PPD	ユーザーズガイド プリンタ機能編 「ページ属性 (基本設定)」
Macintosh OS 9.2		ユーザーズガイド プリンタ機能編 「ページ属性 (基本設定)」

原稿サイズ／出力サイズ

原稿の用紙サイズとプリントする用紙のサイズを設定します。それぞれの項目を設定することで、拡大・縮小を指定できます。



OS	プリンタドライバ	参照先
Windows	PCL コニカミノルタ製	ユーザーズガイド プリンタ機能編 「セットアップタブの設定」
	PostScript コニカミノルタ製	ユーザーズガイド プリンタ機能編 「セットアップタブの設定」
	Vista 用 PCL ドライバ (VXL) Vista 用 PostScript ドライバ (VPS)	ユーザーズガイド プリンタ機能編 「基本設定タブの設定」
	PostScript PPD	ユーザーズガイド プリンタ機能編 「用紙タブの設定」
Macintosh OS X	PostScript PPD	ユーザーズガイド プリンタ機能編 「ページ属性 (基本設定)」
Macintosh OS 9.2		ユーザーズガイド プリンタ機能編 「ページ属性 (基本設定)」

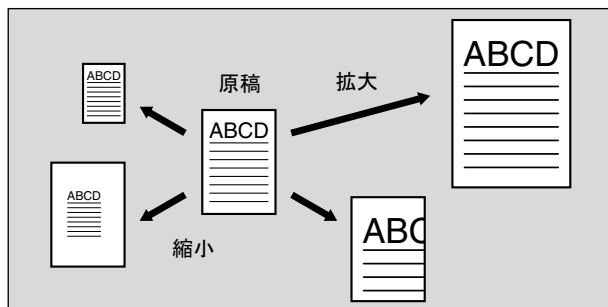


ワンポイントアドバイス

Windows/Macintosh 用 PostScript PPD ドライバは、プリントする用紙サイズのみ指定できます。

ズーム（拡大縮小）

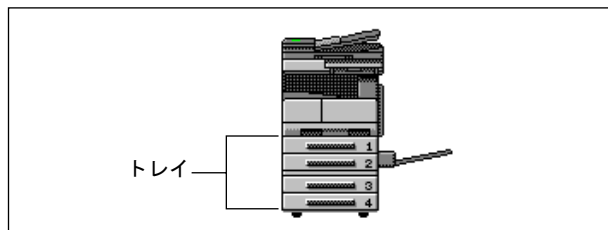
拡大・縮小倍率を数値で指定します。



OS	プリンタドライバ	参照先
Windows	PCL コニカミノルタ製	ユーザーズガイド プリンタ機能編 「セットアップタブの設定」
	PostScript コニカミノルタ製	ユーザーズガイド プリンタ機能編 「セットアップタブの設定」
	Vista 用 PCL ドライバ (VXL) Vista 用 PostScript ドライバ (VPS)	ユーザーズガイド プリンタ機能編 「基本設定タブの設定」
	PostScript PPD	ユーザーズガイド プリンタ機能編 「グラフィックスタブ」
Macintosh OS X	PostScript PPD	ユーザーズガイド プリンタ機能編 「ページ属性（基本設定）」
Macintosh OS 9.2		ユーザーズガイド プリンタ機能編 「ページ属性（基本設定）」

給紙トレイ（給紙方法）

給紙トレイでは、プリントする給紙トレイを選択します。用紙種類を変更する場合など、給紙トレイを選択することで使い分けられます。



OS	プリンタドライバ	参照先
Windows	PCL コニカミノルタ製	ユーザーズガイド プリンタ機能編 「セットアップタブの設定」
	PostScript コニカミノルタ製	ユーザーズガイド プリンタ機能編 「セットアップタブの設定」
	Vista 用 PCL ドライバ (VXL) Vista 用 PostScript ドライバ (VPS)	ユーザーズガイド プリンタ機能編 「基本設定タブの設定」
	PostScript PPD	ユーザーズガイド プリンタ機能編 「用紙タブの設定」
Macintosh OS X	PostScript PPD	ユーザーズガイド プリンタ機能編 「給紙」
Macintosh OS 9.2		ユーザーズガイド プリンタ機能編 「一般設定（基本設定）」

用紙種類

プリントする用紙種類を指定します。

OS	プリンタドライバ	参照先
Windows	PCL コニカミノルタ製	ユーザーズガイド プリンタ機能編 「セットアップタブの設定」
	PostScript コニカミノルタ製	ユーザーズガイド プリンタ機能編 「セットアップタブの設定」
	Vista 用 PCL ドライバ (VXL) Vista 用 PostScript ドライバ (VPS)	ユーザーズガイド プリンタ機能編 「基本設定タブの設定」
	PostScript PPD	ユーザーズガイド プリンタ機能編 「用紙タブの設定」



ワンポイントアドバイス

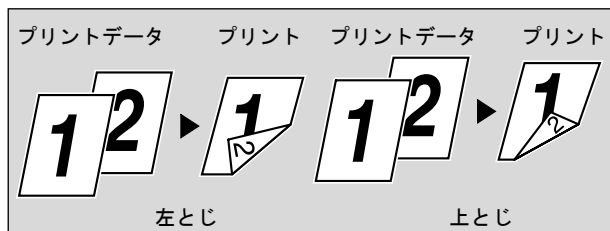
Windows 用 PCL コニカミノルタ製ドライバは、給紙トレイに対し、用紙種類を設定します。

印刷種類（両面印刷／小冊子印刷）

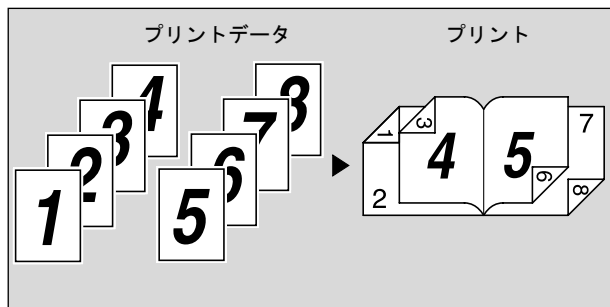
文書を、用紙の両面、または小冊子形式（見開き、中とじ）にプリントできます。複数ページの文書をとじる場合に便利です。

とじ位置を指定することで、とじる辺を指定できます。

両面印刷



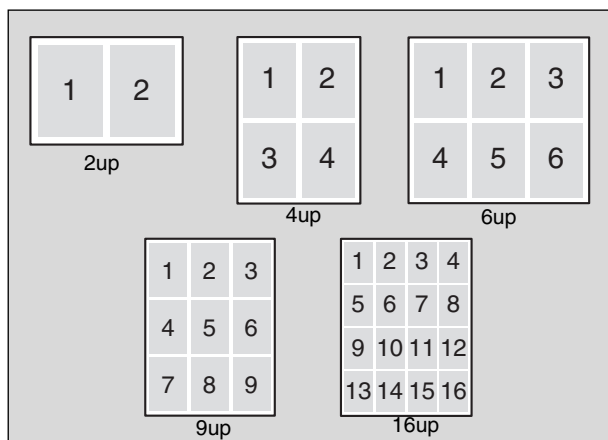
小冊子印刷



OS	プリンタドライバ	参照先
Windows	PCL コニカミノルタ製	ユーザーズガイド プリンタ機能編 「セットアップタブの設定」
	PostScript コニカミノルタ製	ユーザーズガイド プリンタ機能編 「レイアウトタブの設定」
	Vista 用 PCL ドライバ (VXL) Vista 用 PostScript ドライバ (VPS)	ユーザーズガイド プリンタ機能編 「レイアウトタブの設定」
	PostScript PPD	ユーザーズガイド プリンタ機能編 「デバイスオプションの設定」
Macintosh OS X	PostScript PPD	ユーザーズガイド プリンタ機能編 「出力設定」
Macintosh OS 9.2		ユーザーズガイド プリンタ機能編 「プリンタ固有機能 (Finishing Option 1 ~ 3)」

ページ割付

複数ページの文書を 1 枚の用紙にプリントします。プリントする用紙の枚数を節約したい場合などに便利です。

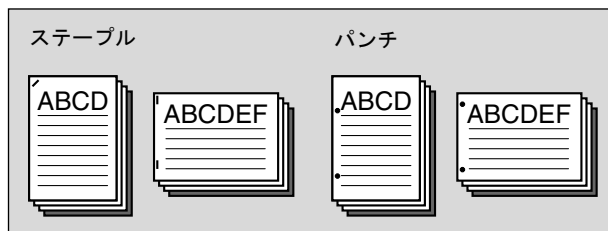


OS	プリンタドライバ	参照先
Windows	PCL コニカミノルタ製	ユーザーズガイド プリンタ機能編 「セットアップタブの設定」
	PostScript コニカミノルタ製	ユーザーズガイド プリンタ機能編 「レイアウトタブの設定」
	Vista 用 PCL ドライバ (VXL) Vista 用 PostScript ドライバ (VPS)	ユーザーズガイド プリンタ機能編 「レイアウトタブの設定」
	PostScript PPD	ユーザーズガイド プリンタ機能編 「用紙タブの設定」
Macintosh OS X	PostScript PPD	ユーザーズガイド プリンタ機能編 「レイアウト (ページ割付)」
Macintosh OS 9.2		ユーザーズガイド プリンタ機能編 「レイアウト (ページ割付)」

ステープル／パンチ

文書をステープルでとじたり、パンチ穴を開けます。

とじしろを指定すると、ステープルまたはパンチ穴用の余白を設定できます。



ご注意

ステープル機能はオプションのフィニッシャーが装着されている場合のみ使用可能です。

パンチ穴機能はオプションのフィニッシャーにパンチユニットが装着されている場合のみ使用可能です。

OS	プリンタドライバ	参照先
Windows	PCL コニカミノルタ製	ユーザーズガイド プリンタ機能編 「セットアップタブの設定」
	PostScript コニカミノルタ製	ユーザーズガイド プリンタ機能編 「レイアウトタブの設定」
	Vista 用 PCL ドライバ (VXL) Vista 用 PostScript ドライバ (VPS)	ユーザーズガイド プリンタ機能編 「仕上げタブの設定」
	PostScript PPD	ユーザーズガイド プリンタ機能編 「デバイスオプションの設定」
Macintosh OS X	PostScript PPD	ユーザーズガイド プリンタ機能編 「出力設定」
Macintosh OS 9.2		ユーザーズガイド プリンタ機能編 「プリンタ固有機能 (Finishing Option 1 ~ 3)」

出力方法（ジョブ管理）

プリント時にパスワードを必要とする「機密プリント」や、ドキュメントフォルダに保存する「ボックス保存」などが選択できます。

OS	プリンタドライバ	参照先
Windows	PCL コニカミノルタ製	ユーザーズガイド プリンタ機能編 「セットアップタブの設定」
	PostScript コニカミノルタ製	ユーザーズガイド プリンタ機能編 「セットアップタブの設定」
	Vista 用 PCL ドライバ (VXL) Vista 用 PostScript ドライバ (VPS)	ユーザーズガイド プリンタ機能編 「基本設定タブの設定」
	PostScript PPD	ユーザーズガイド プリンタ機能編 「デバイスオプションの設定」
Macintosh OS X	PostScript PPD	ユーザーズガイド プリンタ機能編 「セキュリティ」

ソート（部単位）／仕分け（オフセット）

1、2、3...、1、2、3...、と部数ごとに印刷することができます。

仕分けを指定すると、部数単位でまとまった状態に排出できます。

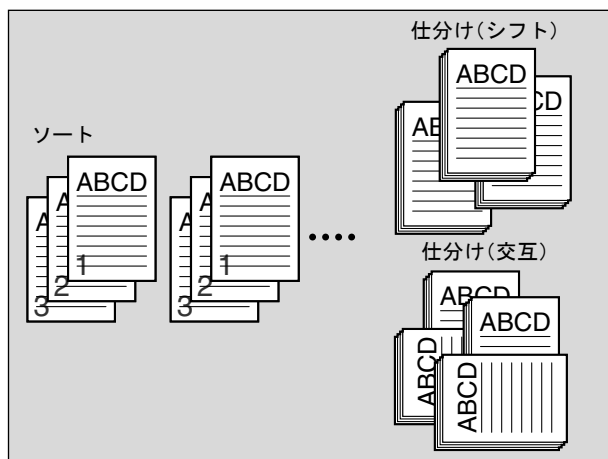


ワンポイントアドバイス

仕分け機能には2種類あり、オプションのフィニッシャーが装着されている場合は、1部ずつ排紙位置をずらすシフト仕分けになります。フィニッシャーが装着されていないときで、以下の条件を満たすときは縦横交互に仕分けします。

交互仕分けの条件：

- A4 または B5 の用紙を使用する
- サイズと種類の同じ用紙を [横] 方向と [縦] 方向の両方にセットする
- 文書内の全ページを同じ用紙サイズにする
- ステープル／パンチを設定していない
- 複数ページの印刷にする（1 ページのみの印刷でない）



OS	プリンタドライバ	参照先
Windows	PCL コニカミノルタ製	ユーザズガイド プリンタ機能編 「セットアップタブの設定」
	PostScript コニカミノルタ製	ユーザズガイド プリンタ機能編 「セットアップタブの設定」
	Vista 用 PCL ドライバ (VXL) Vista 用 PostScript ドライバ (VPS)	ユーザズガイド プリンタ機能編 「基本設定タブの設定」
	PostScript PPD	ユーザズガイド プリンタ機能編 「デバイスオプションの設定」
Macintosh OS X	PostScript PPD	ユーザズガイド プリンタ機能編 「出力設定」
Macintosh OS 9.2		ユーザズガイド プリンタ機能編 「一般設定 (基本設定)」、「プリンタ固有機能 (Finishing Option 1 ~ 3)」

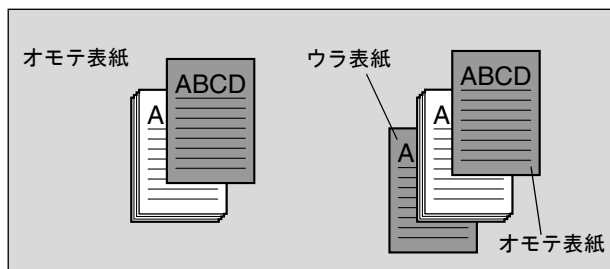
白紙抑制 (白紙節約)

データに白ページがある場合、プリントしません。

OS	プリンタドライバ	参照先
Windows	PCL コニカミノルタ製	ユーザズガイド プリンタ機能編 「セットアップタブの設定」
	Vista 用 PCL ドライバ (VXL)	ユーザズガイド プリンタ機能編 「レイアウトタブの設定」

オモテ表紙／ウラ表紙／ OHP 合紙

表紙やウラ表紙を付けてプリントしたり、OHP フィルムに合紙を付けてプリントします。



OS	プリンタドライバ	参照先
Windows	PCL コニカミノルタ製	ユーザーズガイド プリンタ機能編 「ページ単位設定タブの設定」 「セットアップタブの設定」
	PostScript コニカミノルタ製	ユーザーズガイド プリンタ機能編 「ページ単位設定タブの設定」
	Vista 用 PCL ドライバ (VXL) Vista 用 PostScript ドライバ (VPS)	ユーザーズガイド プリンタ機能編 「カバーシート / 挿入紙タブの設定」
	PostScript PPD	ユーザーズガイド プリンタ機能編 「デバイスオプションの設定」
Macintosh OS X	PostScript PPD	ユーザーズガイド プリンタ機能編 「セットアップ」
Macintosh OS 9.2		ユーザーズガイド プリンタ機能編 「プリンタ固有機能 (Finishing Option 1 ~ 3)」

ページ単位設定

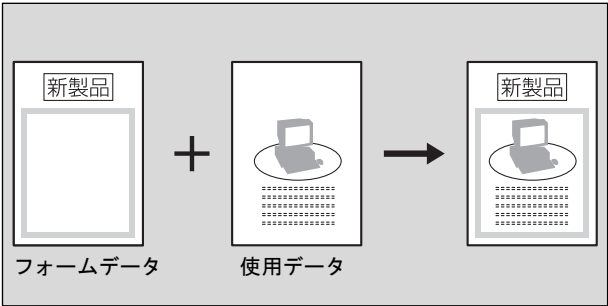
ページ間に用紙を挿入したり、ページごとに片面／両面の印刷種類やプリントする用紙を設定できます。

OS	プリンタドライバ	参照先
Windows	PCL コニカミノルタ製	ユーザーズガイド プリンタ機能編 「ページ単位設定タブの設定」
	Vista 用 PCL ドライバ (VXL)	ユーザーズガイド プリンタ機能編 「カバーシート / 挿入紙タブの設定」

フォーム（オーバーレイ）

別途作成したフォームデータを重ね合わせてプリントします。

フォーム（オーバーレイ）

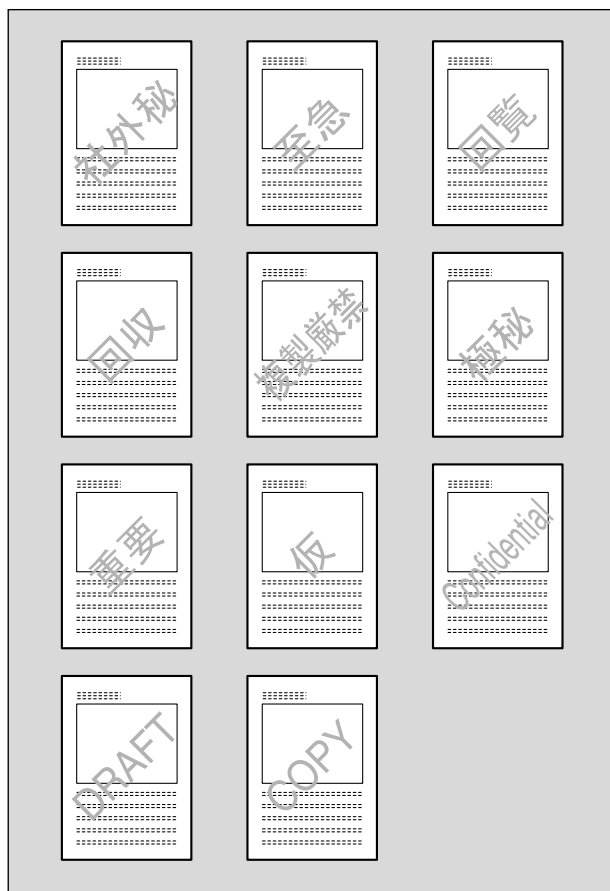


OS	プリンタドライバ	参照先
Windows	PCL コニカミノルタ製	ユーザーズガイド プリンタ機能編 「フォームタブの設定」
	Vista 用 PCL ドライバ (VXL) Vista 用 PostScript ドライバ (VPS)	ユーザーズガイド プリンタ機能編 「スタンプ / ページ印字タブの設定」

ウォーターマーク

ウォーターマーク（文字スタンプ）を重ね合わせてプリントします。

ウォーターマーク



OS	プリンタドライバ	参照先
Windows	PCL コニカミノルタ製	ユーザーズガイド プリンタ機能編 「ウォーターマークタブの設定」
	PostScript コニカミノルタ製	ユーザーズガイド プリンタ機能編 「ウォーターマークタブの設定」
	Vista 用 PCL ドライバ (VXL) Vista 用 PostScript ドライバ (VPS)	ユーザーズガイド プリンタ機能編 「スタンプ / ページ印字タブの設定」

プリンタフォントを使用する（代用フォント）

TrueType フォントをプリンタフォントに置換える設定を行います。

OS	プリンタドライバ	参照先
Windows	PCL コニカミノルタ製	ユーザーズガイド プリンタ機能編 「フォントタブの設定」
	PostScript コニカミノルタ製	ユーザーズガイド プリンタ機能編 「画像品質タブの設定」
	Vista 用 PCL ドライバ (VXL) Vista 用 PostScript ドライバ (VPS)	ユーザーズガイド プリンタ機能編 「画像品質タブの設定」
	PostScript PPD	ユーザーズガイド プリンタ機能編 「フォントタブの設定」
Macintosh OS 9.2	PostScript PPD	ユーザーズガイド プリンタ機能編 「PostScript オプション」

ユーザ認証

本機でユーザ認証モードが設定されている場合に必要な、ユーザ名とパスワードを入力／設定します。

OS	プリンタドライバ	参照先
Windows	PCL コニカミノルタ製	ユーザーズガイド プリンタ機能編 「セットアップタブの設定」
	PostScript コニカミノルタ製	ユーザーズガイド プリンタ機能編 「セットアップタブの設定」
	Vista 用 PCL ドライバ (VXL) Vista 用 PostScript ドライバ (VPS)	ユーザーズガイド プリンタ機能編 「画像品質タブの設定」
	PostScript PPD	ユーザーズガイド プリンタ機能編 「セキュリティ」
Macintosh OS X	PostScript PPD	ユーザーズガイド プリンタ機能編 「セキュリティ」

部門管理

本機で部門管理を行っている場合に設定します。

OS	プリンタドライバ	参照先
Windows	PCL コニカミノルタ製	ユーザーズガイド プリンタ機能編 「セットアップタブの設定」
	PostScript コニカミノルタ製	ユーザーズガイド プリンタ機能編 「セットアップタブの設定」
	Vista 用 PCL ドライバ (VXL) Vista 用 PostScript ドライバ (VPS)	ユーザーズガイド プリンタ機能編 「画像品質タブの設定」
	PostScript PPD	ユーザーズガイド プリンタ機能編 「セキュリティ」
Macintosh OS X	PostScript PPD	ユーザーズガイド プリンタ機能編 「セキュリティ」

Windows の場合

プリント時に利用できる本機の機能は、Windows の「プリンタ」(Windows XP/Server 2003 の場合は「プリンタと FAX」) ウィンドウで、プリンタドライバの設定ダイアログを表示して設定します。

この方法で表示した設定ダイアログで行った設定は、全てのアプリケーションソフトウェアでプリンタを使用するときに適用されます。

- 1 Windows 98SE/Me/2000/NT 4.0 の場合は、[スタート] をクリックし、「設定」－「プリンタ」をクリックします。
Windows XP/Server 2003 の場合は、[スタート] をクリックし、「プリンタと FAX」をクリックします。
Windows Vista の場合は、[スタート] をクリックして「コントロールパネル」を開き、「ハードウェアとサウンド」の「プリンタ」をクリックします。



メモ)

Windows XP/Server 2003 で [スタート] メニューに「プリンタと FAX」が表示されていない場合は、[スタート] メニューから [コントロールパネル] を開き、「プリンタとその他のハードウェア」を選び、さらに「プリンタと FAX」を選びます。

Windows Vista で「コントロールパネル」がクラシック表示になっている場合は、「プリンタ」をダブルクリックします。

- 2 Windows 98SE/Me の場合は、インストールしたプリンタのアイコンを右クリックして「プロパティ」をクリックします。
Windows 2000/XP/Vista/Server 2003 の場合は、インストールしたプリンタのアイコンを右クリックして「印刷設定」をクリックします。
Windows NT 4.0 の場合は、インストールしたプリンタのアイコンを右クリックして「ドキュメントの既定値」をクリックします。

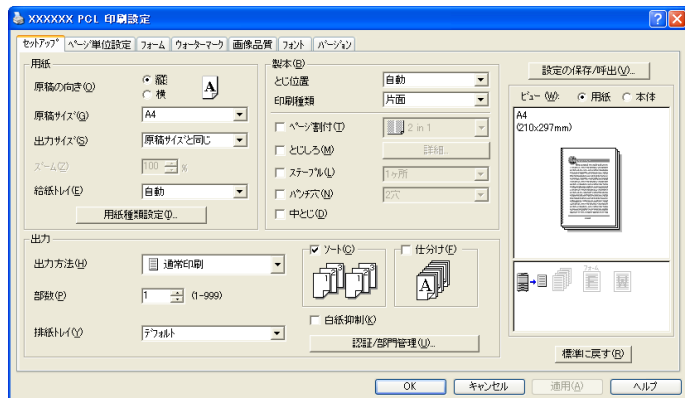
以下のようなプリンタドライバの設定ダイアログが表示されます。

各プリンタドライバで設定できる項目については以下のページをごらんください。

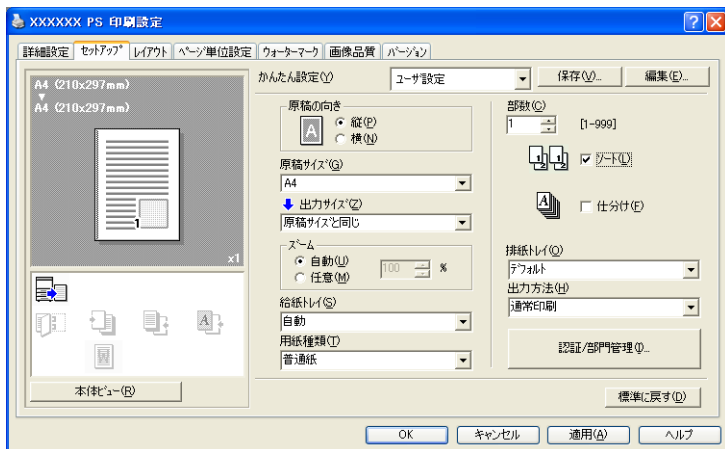
- PCL コニカミノルタ製ドライバ：ユーザーズガイド プリンタ機能編「PCL ドライバの設定」
- PostScript コニカミノルタ製ドライバ：ユーザーズガイド プリンタ機能編「PostScript ドライバの設定 (Windows)」
- Vista 用 PCL コニカミノルタ製ドライバ (VXL)：ユーザーズガイド プリンタ機能編「VXL/VPS ドライバの設定 (Windows Vista)」
- Vista 用 PostScript コニカミノルタ製ドライバ (VPS)：ユーザーズガイド プリンタ機能編「VXL/VPS ドライバの設定 (Windows Vista)」

- PostScript 用 PPD ドライバ：ユーザーズガイド プリンタ機能編
「PPD ドライバの設定（Windows）」

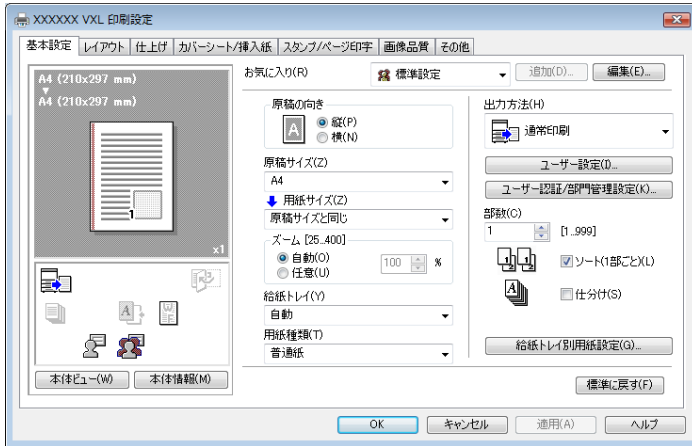
PCL ドライバ



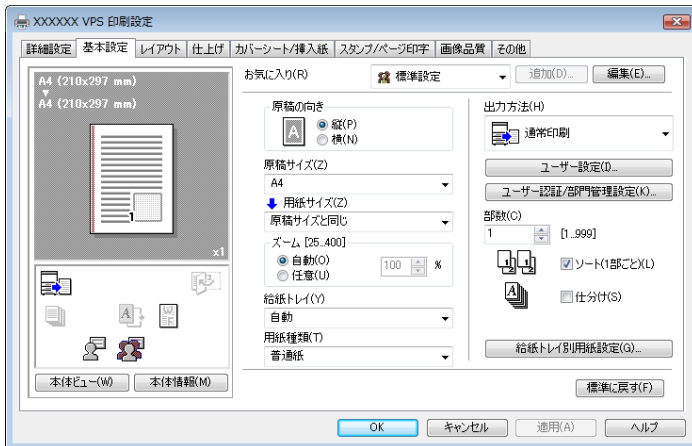
PostScript ドライバ



Vista 用 PCL ドライバ (VXL)



Vista 用 PostScript ドライバ (VPS)



PostScript 用 PPD ドライバ



ご注意

このダイアログの各タブを使用して、プリンタドライバの設定を行います。

プリントするファイルごとに設定する場合は、アプリケーションソフトウェアで「印刷」を指定したときに表示される「印刷」画面で [プロパティ] (または [詳細設定]) をクリックしてください。「印刷」画面から設定した内容は、一時的な設定となります。

Macintosh の場合

プリント時に利用できる本機の機能は、「プリント」画面や「ページ設定」画面で設定します。

設定内容は、そのアプリケーションを使用している間だけ適用されます。アプリケーションソフトウェアを終了すると、設定内容は元にもどります。

「プリント」画面の表示

アプリケーションソフトウェアでデータを開き、[ファイル] メニューから「プリント」（または「印刷」）を選択します。



「ページ設定」画面の表示

アプリケーションソフトウェアでデータを開き、[ファイル] メニューから「ページ設定」（または「用紙設定」）を選択します。



各プリンタドライバで設定できる項目については以下のページをご覧ください。

- OS X : ユーザーズガイド プリンタ機能編「PPD ドライバの設定 (OS X)」
- OS 9.2 : ユーザーズガイド プリンタ機能編「PPD ドライバの設定 (OS 9.2)」



ワンポイントアドバイス

「プリント」画面や「ページ設定」画面の内容はアプリケーションソフトウェアによって異なります。

「ページ設定」画面の表示は、アプリケーションソフトウェアによっては、[ファイル]メニューから「用紙設定」－「オプション」と選択する場合があります。

5 各種設定

5.1 テストプリント出力

コピー機の操作パネルから、以下の4種類のレポートを出力することができます。ここではレポートの出力方法をPCL フォントリストで説明をします。

- 設定内容：本機の設定内容の一覧を出力します。
- PCL デモページ：テストページを出力します。
- PCL フォントリスト：PCL フォントリストを出力します。
- PS フォントリスト：PS フォントリストを出力します。

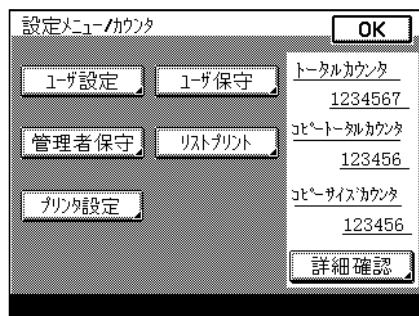
プリンタ設定

プリンタ設定画面を表示させるには

- 1 【設定メニュー／カウンタ】を押します。



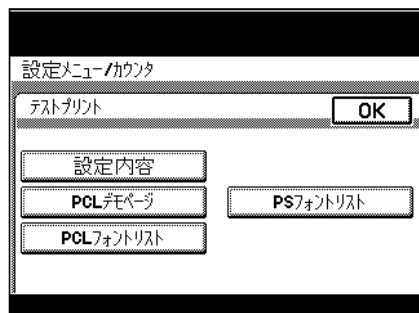
- 2 [プリンタ設定] を押します。



- 3 [テストプリント] を押します。



- 4 希望するレポート名を押して、[OK] を押します。



6 トラブルシューティング

6.1 プリントできない

本章では、想定するトラブルおよび困った場合の解決方法について説明します。

プリントを実行したにもかかわらず、プリントできない場合に、上から順に確認してください。

状況	考えられる原因	対処方法
コンピュータ上の画面に「プリンタが接続されていない」または「印刷エラー」という内容のメッセージが表示される。	プリント時に指定しているプリンタドライバがプリンタコントローラ対応になっていない可能性があります。	指定しているプリンタ名を確認してください。
	ネットワークケーブルまたはパラレルケーブル、USB ケーブルが外れている可能性があります。	ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。
	本機側でエラーが発生している可能性があります。	本機の操作パネルを確認してください。
	メモリが不足している可能性があります。	テスト印刷でプリントできるか確認してください。
コンピュータ上の画面にポストスクリプトエラーが表示される。	コンピュータのメモリが不足している可能性があります。	テスト印刷でプリントできるか確認してください。
	アプリケーションソフトウェアの設定によるエラーが考えられます。	アプリケーションソフトウェアの取扱説明書などを参考に、設定を再確認してください。
	ファイルの印刷設定が間違っている可能性があります。	設定を変えて再度プリントを試してみてください。
コンピュータ側のプリント処理は終了したがプリントが開始されない。	プリント時に指定しているプリンタドライバがプリンタコントローラ対応になっていない可能性があります。	指定しているプリンタ名を確認してください。
	ネットワークケーブルまたはパラレルケーブル、USB ケーブルが外れている可能性があります。	ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。

状況	考えられる原因	対処方法
コンピュータ側のプリント処理は終了したがプリントが開始されない。	本機側でエラーが発生している可能性があります。	本機の操作パネルを確認してください。
	未処理のジョブが本機に残っていて、処理待ち状態になっている可能性があります。	本機の操作パネルのジョブ確認でジョブの順番を確認してください。
	プリント実行時に「ボックス保存」を指定している可能性があります。	本機の操作パネルで「ボックス」に目的のジョブが保留されていないか確認してください。
	プリント実行時に「機密プリント」を指定している可能性があります。	本機の操作パネルで「機密ボックス」に目的のジョブが保留されていないか確認してください。
	部門管理している場合、登録以外の部門名とパスワードを入力している可能性があります。	部門名とパスワードを正しく入力してください。
	認証設定している場合、登録以外のユーザ名やパスワードを入力している可能性があります。	ユーザ名やパスワードを正しく入力してください。
	コンピュータのメモリが不足している可能性があります。	テスト印刷でプリントできるか確認してください。
	プリンタコントローラとのネットワークが確立されていません（ネットワーク接続時）。	ネットワーク管理者にご相談ください。
	本機側でセキュリティ強化モードになっている可能性があります。	セキュリティ強化モードでの認証設定を行ってください。詳しくは、ネットワーク管理者にご相談ください。
	本機側でパスワード規約がONになっている可能性があります。	パスワード規約を満たすパスワードを入力してください。
	メモリが不足している可能性があります。	メモリを増設してください。



ご注意

本機は、最大 29 文書のプリントジョブ（「確認プリント」、「機密文書」を含む）をメモリに蓄積することができます。29 ジョブ以上蓄積されている場合は、新しいジョブを受信できません。操作パネルの「ボックス」機能で「確認プリント」や「機密文書」が残っていないか確認してください。ジョブが残っている場合は、蓄積されているジョブをプリントするか削除してください。

以上のことを確認しても解決しない場合は、「ユーザーズガイド コピー機能編」をお読みください。

6.2 設定できない／設定したとおりにプリントできない

プリンタドライバで設定ができない場合や、設定してもそのとおりにプリントされない場合に確認してください。



メモ)

プリンタドライバの項目を設定する場合、項目によっては同時に選択できないものがあります。

状況	考えられる原因	対処方法
プリンタドライバ上で項目が選択できない。	機能によっては組み合わせできない場合があります。	グレー表示の部分は設定できません。
コンピュータ画面上に「設定できない」「機能が解除される」内容の「競合」メッセージが表示される。	組み合わせできない機能を設定しています。	内容をよく確認し、機能を指定しなおしてください。
設定したとおりにプリントできない。	正しく設定されていない可能性があります。	プリンタドライバの各設定項目を確認してください。
	プリンタドライバ上では組み合わせ設定できますが、本機としては組み合わせができません。	
	アプリケーションで設定した用紙サイズや用紙の向きなどがプリンタドライバでの設定より優先されてプリントされることがあります。	アプリケーション側の設定を正しく設定してください。
ウォーターマークがプリントできない。	ウォーターマークを正しく設定していない可能性があります。	ウォーターマークの設定を確認してください。
	ウォーターマークの濃度が薄い可能性があります。	濃淡設定を確認してください。
	グラフィックス系などのアプリケーションソフトウェアでは、ウォーターマークがプリントされないことがあります。	この場合、ウォーターマークはプリントできません。
ステープルが指定できない。	用紙種類が厚紙、OHP フィルムの場合は、ステープルできません。	プリンタドライバの各設定項目を確認してください。
	ステープルは、オプションのフィニッシャーが必要です。	

状況	考えられる原因	対処方法
ステープルができない。	プリントするページ数が多い場合は、ステープルできません。	1部あたりのページ数をステープル可能な枚数にしてプリントしてください。
	異なった用紙サイズが混在している場合は、ステープルできません。	書類を確認してください。
ステープルの位置が思いどおりにならない。	方向の設定が合っていない。	プリンタドライバの設定でステープルの位置を確認してからプリントしてください。
パンチが指定できない。	小冊子、OHP フィルム、厚紙、封筒を指定した場合は、パンチを指定できません。	プリンタドライバの各設定項目を確認してください。
	パンチ穴機能はオプションのフィニッシャーにパンチユニットが必要です。	必要なオプションを装着し、プリンタドライバでオプションを使用可能にしてください。
パンチされない。	給紙口にセットしてある用紙の向きが適切でない場合は、パンチせずにプリントされることがあります。	用紙の向きを確認してください。
パンチの位置が思いどおりにならない。	方向の設定が合っていない。	プリンタドライバの設定ダイアログの「ページレイアウト」でパンチの位置を確認してからプリントしてください。
フォームがうまくプリントされない。	コンピュータのメモリが不足している可能性があります。	フォームを簡単なものにしてデータ量を減らしてください。
画像がうまくプリントされない。	コンピュータのメモリが不足している可能性があります。	画像を簡単なものにしてデータ量を減らしてください。
指定した給紙口から給紙されない。	指定した給紙口に必要サイズ／方向の用紙が入っていない場合は、指定した給紙口から給紙されない可能性があります。	給紙口に適切なサイズ／方向の用紙を入れてください。
ナンバリング機能が行えない。	プリント時の設定画面で「部単位で印刷」(Windows の場合)、「丁合い」(OS X の場合)が ON になっている可能性があります。	「部単位で印刷」(Windows の場合)、「丁合い」(OS X の場合)を OFF にしてください。
確認プリントが行えない。		

7 付録

7.1 製品仕様

項目		仕様
型式		内蔵型コントローラ
電源		本体と共通
CPU		RM5231
RAM		192 MB
HDD		40 GB（オプション）
I/F		<ul style="list-style-type: none">標準 Ethernet（100Base-TX / 10Base-T）、USB 1.1/2.0オプション IEEE1284
フレームタイプ		Ethernet 802.2 Ethernet 802.3 Ethernet II Ethernet SNAP
対応プロトコル		TCP/IP IPX/SPX NetBEUI AppleTalk（EtherTalk）
プリント速度		20 枚／分（bizhub 200、A4 用紙） 25 枚／分（bizhub 250、A4 用紙） 35 枚／分（bizhub 350、A4 用紙）
ファーストプリントタイム		5.3 秒以下（bizhub 200/250、A4 用紙、第 1 給紙トレイ使用時） 4.8 秒以下（bizhub 350、A4 用紙、第 1 給紙トレイ使用時）
プリンタ言語		PCL5e エミュレーション PCL6（XL ver. 2.1）エミュレーション PostScript 3 エミュレーション
動作環境条件		温度 10 ～ 30°C 湿度 15 ～ 85%RH
解像度	データ処理	600 × 600 dpi
	プリント	600 × 1500 dpi 相当
対応用紙サイズ		最大定型用紙サイズ

項目		仕様
フォント（内蔵フォント）		< PCL > 欧文 80 書体 日本語 HG 明朝 L HGP 明朝 L HG ゴシック B HGP ゴシック B < Postscript 3 Emulation > 欧文 136 書体 日本語 HG 明朝 L HG ゴシック B
対応コンピュータ		IBM PC およびその互換機、Macintosh（PowerPC、Intel プロセッサ）
サポート OS	サーバ	Windows NT4.0 / 2000（SP4 以降） / 2003
	クライアント	Windows 98SE / Me Windows 2000 / XP Windows Vista Windows NT4.0 Macintosh OS 9.2 以降 / OS X 10.2、10.3、10.4
プリンタドライバ		PCL6 • Windows 98SE / Me プリンタドライバ • Windows 2000（SP4 以降） / XP（SP2 以降） / Server 2003 プリンタドライバ • Windows NT4.0（SP6a）プリンタドライバ • Windows Vista、Windows Vista x64 プリンタドライバ PS3 • Windows 98SE / Me PPD ファイル • Windows NT 4.0 プリンタドライバ • Windows 2000、Windows XP（Home/Professional）、Windows Server 2003 プリンタドライバ • Windows XP Professional x64、Windows Server 2003 x64 プリンタドライバ • Windows Vista、Windows Vista x64 プリンタドライバ • MacOS 9.2 PPD ファイル • MacOS X 10.2 プリンタドライバ • MacOS X 10.3/10.4 プリンタドライバ
ユーティリティ		PageScope Web Connection 対応 Web ブラウザ : Windows 98SE/Me/NT 4.0 Microsoft Internet Explorer Ver.4 以降 Netscape Navigator Ver.4.73 または 7.0 Windows 2000 Microsoft Internet Explorer Ver.5 以降 Netscape Navigator Ver.7.0 Windows XP Microsoft Internet Explorer Ver.6 以降 Netscape Navigator Ver.7.0 Windows Vista Microsoft Internet Explorer Ver.7 以降 Netscape Navigator Ver.7.0 ＊ただし、Microsoft Internet Explorer Ver.5.5 をお使いの場合は、Service Pack1 以降を使用してください。

7.2 コンフィグレーションページ

KONICA MINOLTA 350/250/200

Configuration Page

Print Operation Menu Map

Basic Setting

Default Paper Size	= A4
Paper Tray	= Auto
Bind Direction	= Unknown
2-Sided Print	= Off
Orientation	= Portrait
# of Sets	= 1
Paper Size Change	= Off
PDL Setting	= Auto

PCL Setting

Font Source	= I
Font Number	= 0
Font Pitch	= 10.00
Font Point	= 12.00
Symbol Set	= PC-8, Code Page 437
Form Length	= 64 [Line / Page]
CR / LF Mapping	= Off

PS Setting

PS Error Print	= Disabled
----------------	------------

I/F Setting

IEEE 1284 Timeout	= 300 [sec]
Network Rx Timeout	= 300 [sec]
USB Timeout	= 300 [sec]
Parallel I/F	= ECP

Test Print

Configuration
PCL Font List
PS Font List
Demo Page

Installed

Printer HDD	= None
Printer Memory	= 192 [MByte]

Printer Information

Installed Tray

Tray 1	= A4
Tray 2	= A4
Tray 3	= A4
Tray 4	= A4
Bypass Tray	= A4

Option

Duplex Unit	= Installed
Finisher	= Available
Punch Unit	= Available
Fold Unit	= Available

Firmware Version

Printer Controller	= 4040-3800-F08-00
--------------------	--------------------

Network

TCP/IP

IP Address	= 192.168.1.20
Subnet Mask	= 255.255.255.0
Gateway Address	= 0.0.0.0

7.3 フォントリスト

PCL フォントリスト

KONICA MINOLTA 350/250/200

PCL Font List

P.1

Internal Fonts

Font	Pitch/Point	Escape Sequence	Font #	Font ID
Courier	Scalable	<esc>(01X<esc>(s0p10h0s0b4099T	00000	
CG Times	Scalable	<esc>(01X<esc>(slp12v0s0b4101T	00001	
CG Times Bold	Scalable	<esc>(01X<esc>(slp12v0s3b4101T	00002	
<i>CG Times Italic</i>	Scalable	<esc>(01X<esc>(slp12v1s0b4101T	00003	
<i>CG Times Bold Italic</i>	Scalable	<esc>(01X<esc>(slp12v1s3b4101T	00004	
CG Omega	Scalable	<esc>(01X<esc>(slp12v0s0b4113T	00005	
CG Omega Bold	Scalable	<esc>(01X<esc>(slp12v0s3b4113T	00006	
<i>CG Omega Italic</i>	Scalable	<esc>(01X<esc>(slp12v1s0b4113T	00007	
<i>CG Omega Bold Italic</i>	Scalable	<esc>(01X<esc>(slp12v1s3b4113T	00008	
<i>Coronet</i>	Scalable	<esc>(01X<esc>(slp12v1s0b4116T	00009	
Clarendon Condensed	Scalable	<esc>(01X<esc>(slp12v4s3b4140T	00010	
Univers Medium	Scalable	<esc>(01X<esc>(slp12v0s0b4148T	00011	
Univers Bold	Scalable	<esc>(01X<esc>(slp12v0s3b4148T	00012	
<i>Univers Medium Italic</i>	Scalable	<esc>(01X<esc>(slp12v1s0b4148T	00013	
<i>Univers Bold Italic</i>	Scalable	<esc>(01X<esc>(slp12v1s3b4148T	00014	
Univers Med. Condensed	Scalable	<esc>(01X<esc>(slp12v4s0b4148T	00015	
Univers Bold Condensed	Scalable	<esc>(01X<esc>(slp12v4s3b4148T	00016	
<i>Univers Med. Cond. It.</i>	Scalable	<esc>(01X<esc>(slp12v5s0b4148T	00017	
<i>Univers Bold Cond. It.</i>	Scalable	<esc>(01X<esc>(slp12v5s3b4148T	00018	
Antique Olive	Scalable	<esc>(01X<esc>(slp12v0s0b4168T	00019	
Antique Olive Bold	Scalable	<esc>(01X<esc>(slp12v0s3b4168T	00020	
<i>Antique Olive Italic</i>	Scalable	<esc>(01X<esc>(slp12v1s0b4168T	00021	
Garamond Antiqua	Scalable	<esc>(01X<esc>(slp12v0s0b4197T	00022	
Garamond Halbfett	Scalable	<esc>(01X<esc>(slp12v0s3b4197T	00023	
<i>Garamond Kursiv</i>	Scalable	<esc>(01X<esc>(slp12v1s0b4197T	00024	

PS フォントリスト

KONICA MINOLTA 350/250/200

PS Font List

P.1

Internal Fonts

Font	Font #
Albertus MT	00000
<i>Albertus MT Italic</i>	00001
Albertus MT Light	00002
Antique Olive Roman	00003
<i>Antique Olive Italic</i>	00004
Antique Olive Bold	00005
Antique Olive Compact	00006
<i>Apple Chancery</i>	00007
Arial	00008
<i>Arial Italic</i>	00009
Arial Bold	00010
Arial Bold Italic	00011
ITC Avant Garde Gothic Book	00012
<i>ITC Avant Garde Gothic Book Oblique</i>	00013
ITC Avant Garde Gothic Demi	00014
ITC Avant Garde Gothic Demi Oblique	00015
Bodoni Roman	00016
<i>Bodoni Italic</i>	00017
Bodoni Bold	00018
Bodoni Bold Italic	00019
Bodoni Poster	00020
Bodoni Poster Compressed	00021
ITC Bookman Light	00022
<i>ITC Bookman Light Italic</i>	00023
ITC Bookman Demi	00024
ITC Bookman Demi Italic	00025
	00026
Chicago	00027
Clarendon Roman	00028
Clarendon Bold	00029
AlbertusMT	00000
AlbertusMT-Italic	00001
AlbertusMT-Light	00002
AntiqueOlive-Roman	00003
AntiqueOlive-Italic	00004
AntiqueOlive-Bold	00005
AntiqueOlive-Compact	00006
Apple-Chancery	00007
ArialMT	00008
Arial-ItalicMT	00009
Arial-BoldMT	00010
Arial-BoldItalicMT	00011
AvantGarde-Book	00012
AvantGarde-BookOblique	00013
AvantGarde-Demi	00014
AvantGarde-DemiOblique	00015
Bodoni	00016
Bodoni-Italic	00017
Bodoni-Bold	00018
Bodoni-BoldItalic	00019
Bodoni-Poster	00020
Bodoni-PosterCompressed	00021
Bookman-Light	00022
Bookman-LightItalic	00023
Bookman-Demi	00024
Bookman-DemItalic	00025
Carta	00026
Chicago	00027
Clarendon	00028
Clarendon-Bold	00029

お問い合わせは

■ 販売店連絡先

《販売店 連絡先》
販売店名
電話番号
担当部門
担当者

■ 保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ

この商品の保守・操作方法・修理・サポートについてのお問い合わせは、お買い上げの販売店、サービス実施店にご連絡ください。

《保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ先》
TEL

コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1丁目5番4号

当社についての詳しい情報はインターネットでご覧いただけます。 <http://bj.konicaminolta.jp>

当社に関する要望、ご意見、ご相談、その他お困りの点などございましたら、お客様相談室にご連絡ください。
お客様相談室電話番号 フリーダイヤル：0120-805039（受付時間：土、日、祝日を除く9:00～12:00 / 13:00～17:00）



KONICA MINOLTA

国内総販売元

コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

製造元

コニカミノルタ ビジネステクノロジーズ株式会社

〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目6番1号 丸の内センタービルディング

Copyright

Printed in China

4040-7704-34

2005 KONICA MINOLTA BUSINESS TECHNOLOGIES, INC.

2007.11